

E/DEシリーズ

USER'S GUIDE

# ユーザーズガイド

◀ はじめにお読みください ▶

1

## Contents

本書の読みかた	
安全上のご注意.....	2
法規について.....	5



### セットアップ編

STEP1 梱包箱を開けてみる .....	6
STEP2 付属品を確認する .....	7
STEP3 必要な機器を接続する .....	8
STEP4 地上デジタルテレビを視聴する	
<b>地上デジタルテレビ搭載モデルのみ</b> .....	14
STEP5 Windows 7をセットアップする .....	18
STEP6 各部の名前と機能を確認する .....	22



### トラブル解決編

困ったときには.....	32
おかしいなと思ったら .....	34
リカバリーの方法.....	37
廃棄について.....	41
索引.....	45

このたびは、E/DEシリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
本書(ユーザーズガイド**1**)では、梱包箱を開けてから、必要な機器を  
接続して、Windowsのセットアップを終了するまでの手順を説明しています。  
E/DEシリーズを正しくお使いいただくためにも、必ず本書をお読みください。  
読み終わったあとは、いつでもご参照いただけるよう、大切に保管してください。

ユーザーズガイド**2**(画面で読むマニュアル)では、本機を使うための詳  
細な説明、および本機で周辺機器を使うための説明を掲載しております。  
本書とあわせてお読みください。  
なお、ユーザーズガイド**2**(画面で読むマニュアル)は、本機にPDFファィ  
ル形式で収録されています。  
また、製品仕様およびその他の製品情報は、弊社ホームページに掲載して  
おります。






ご使用の前に「安全上のご注意」( 2ページ)を必ずお読みください。



# 本書の読みかた

## 本書で使用しているマークについて

本書では次のマークを使用しています。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷（※1）を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害（※2）を負う可能性が想定される内容および、物的損害（※3）のみの発生が想定される内容を示しています。
	操作してはいけないこと、または操作するときに注意するポイントを説明しています。
	補足説明や、知っておくと便利なポイントを説明しています。
 参照ページ	機能の詳細を別のページで紹介、または説明していることを示します。必要に応じて参照してください。

※1：重傷とは、入院や長期の通院を要する恐れのある怪我などを指します。

※2：傷害とは、入院や長期の通院を要しない怪我などを指します。

※3：物的損害とは、本機の損害、および家屋・家財・ペットなどにかかわる二次的な損害を指します。

## 製品の表記について

### ■ イラストや画面表示に関して

製品をB.T.O.でご購入された場合、お届けした製品は、お客様が希望されたB.T.O.の構成で出荷されています。したがって、本書で紹介している製品イラストおよび画面表示は、実物と異なる場合があります。お客様がB.T.O.された製品仕様に置き換えてお読みください。

本書中に出てくるホームページの内容およびURL、またはお問い合わせ番号は、本書制作時の情報であり、予告なしに変更される場合があります。

### ■ 機能の区別による表記

#### ワイヤレスLAN搭載モデル

ワイヤレスLAN(無線によるネットワークの接続が可能)の機能を搭載したモデル。

#### WEBカメラ搭載モデル

WEBカメラ機能を搭載したモデル。静止画や動画の撮影が可能。

#### 地上デジタルテレビ搭載モデル

地上デジタルテレビの機能を搭載したモデル。地上デジタルテレビの閲覧が可能。

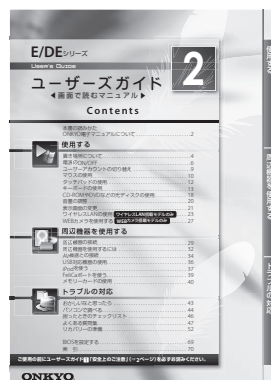
## ■ Windows® 7の表記について

本書では、Windows® 7 Home Premiumを、Windows 7またはWindowsと省略して表記しています。Windows 7には、背景を透かして表示させるWindows Aeroという機能がありますが、本書ではこの機能をOFFにした画面で説明しています。

## 「ユーザーズガイド2」～画面で読むマニュアル～について

ユーザーズガイド**2**では、キーボードやワイヤレスLAN機能など本製品の基本的な機能についての操作方法や、周辺機器との接続・使用方法について説明しています。(Windows 7のセットアップ後に、内容を一通りお読みください。)

ユーザーズガイド**2**は、本製品にPDFファイル形式で収納されています。デスクトップ上にある「ONKYO電子マニュアル」をダブルクリックし、「付属のマニュアル」「ユーザーズマニュアル2」をクリックして表示される画面から、ユーザーズマニュアル**2**の表紙をクリックすると表示されます。

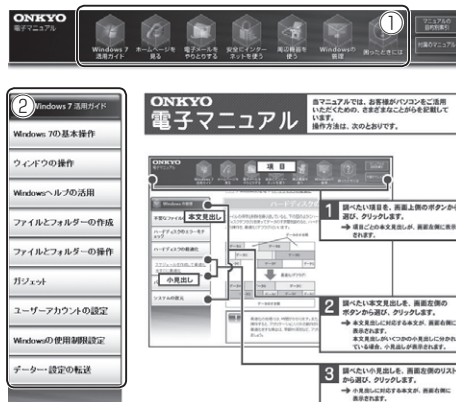


## 「ONKYO電子マニュアル」について

ONKYO電子マニュアルでは、本書で説明しきれないWindows 7の基本的な操作方法や、インターネットや電子メールの設定方法などを説明しています。必要に応じて参照してください。

ONKYO電子マニュアルは、デスクトップ上にある「ONKYO電子マニュアル」のアイコンをダブルクリックして起動します。

調べたい内容を画面左のタイトル一覧からクリック①し、次に画面左の目次をクリック②することで、内容が画面右に表示されます。



- ・ ONKYO電子マニュアルは、オンキヨー株式会社の著作物です。
- ・ ONKYO電子マニュアルの内容は、予告なしに変更されることがあります。また、ONKYO電子マニュアルを運用した結果については、一切の責任を負わないものとします。
- ・ ONKYO電子マニュアルで紹介されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。
- ・ ONKYO電子マニュアルは、著作権法によって保護されています。一部または全部を無断で複製、転載、改変、カスタマイズ、頒布することを禁じます。特にONKYO電子マニュアルを編集および改変してご利用になると、本製品の誤使用の原因となります。
- ・ ONKYO電子マニュアルは、本製品以外での動作は保証いたしかねます。

# 安全上のご注意

本書では、本製品を正しくお使いいただき、お客様やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、いろいろな絵表示をしています。  
その表示と意味は次のようになっています。



○記号は禁止の行為を示します。図の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。  
左図の場合は「分解禁止」という意味です。



●記号は規制または指示の行為を示します。図の中に具体的な指示内容が描かれています。  
左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜いてください」という意味です。

## ⚠ 警告



水場使用禁止

●洗い場、風呂場など、本機に水がかかる場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



分解禁止

●絶対に分解・改造をしないでください。火災・感電の原因となります。  
また、無償修理の対象外となります。



●付属の電源ケーブル以外は使用しないでください。火災・感電の原因となります。



電源プラグを  
抜く

●本機から何かこげるような匂いがしたり、表面がかなり熱いときは直ちに電源プラグを抜いてください。  
そのままご使用になると火災・感電の原因となります。



●本機の電源は交流100Vをご使用ください。  
異なる電源を使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

## ⚠ 注意



アース線を  
接続する

●電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をコンセントのアース端子に取り付けてください。  
アース線を接続しないと、感電の原因となります。



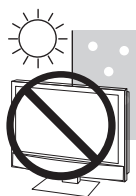
電源プラグを  
抜く

●旅行など長時間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。  
漏電・火災の原因となります。

## ⚠ 注意



- アース線の取り付け・取り外しをする前は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となります。



- 熱の発生源の近く、直射日光のあたるところ、腐食性ガスのある環境、ほこりの多いところ、温度湿度条件を超える範囲では使用・保存しないでください。故障の原因となります。



- 電源プラグを抜くときはケーブルを持たず、必ずプラグ部分を持って抜いてください。故障の原因となります。



- 家電製品のそばにはなるべく設置しないでください。誤動作の原因となります。



- 振動や衝撃の加わる場所には設置しないでください。また、重い物をのせないでください。故障による火災・感電の原因となります。



- 雷が近いときは、すみやかに電源をOFFにし、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。  
また、モジュラーケーブルやLANケーブルなど、接続されているケーブル類も抜いてください。故障の原因となります。



- 通風孔をふさがないでください。故障による火災の原因となります。



- 電源ケーブルの上にもものをのせないでください。電源ケーブルが傷むと漏電・火災の原因となります。



- 本機を持ち運ぶときは底面を持ち、安定した姿勢で持ち運んでください。故障・破損の原因となります。



- タコ足配線をしないでください。コンセントが加熱し、火災・感電の原因となります。

## ⚠ 取り扱い上の注意



たたいたり  
引っかかりたりしない

- 液晶ディスプレイは先の尖ったものでたたいたり、引っかかりたりしないでください。破損する恐れがあります。



- 本体外装の汚れは、清潔でやわらかい乾いた布を使い、から拭きしてください。



- ハードディスクが動作中のときは、移動させないでください。

- ハードディスクに保存したデータなどは、定期的にバックアップをお取りください。

- ・ カラー液晶ディスプレイは消耗品です。
- ・ カラー液晶ディスプレイの有効ドット数の割合は99.99%以上です。  
※有効ドット数の割合とは、「対応するディスプレイに表示できる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています。
- ・ カラー液晶ディスプレイは表示内容によっては明るさのむらが発生することがありますが故障ではありません。
- ・ 使用周囲温度が低いとき、また本製品自体が冷えきっているときは、電源をONにしてもディスプレイのバックライトが「点灯しない」、「点滅する」、「暗い」などの症状がでます。この場合は、一度本体の電源をOFFにし、しばらく常温(10～35℃)の環境に放置した後、お使いください。

## ■ PCリサイクルについて



リサイクル

このマークが表示されている対象製品は、当社が無償で回収および再資源化します。  
詳細は当社Webサイト (<http://www.jp.onkyo.com/sotec/recycle/>) を参照してください。

## ■ 輸出および海外でのご使用に関する注意事項

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替および外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要になる場合があります。

必要な許可を取得せずに本製品を輸出すると、同法により罰せられます。

輸出の許可の可否については、ご購入頂いた販売店、または当社営業拠点にお問い合わせください。

## ■ レーザ安全基準について

この装置には、レーザに関する安全基準（JIS・C-6802）クラス1適合の光ディスクドライブが搭載されています。

## ■ 瞬時電圧低下について

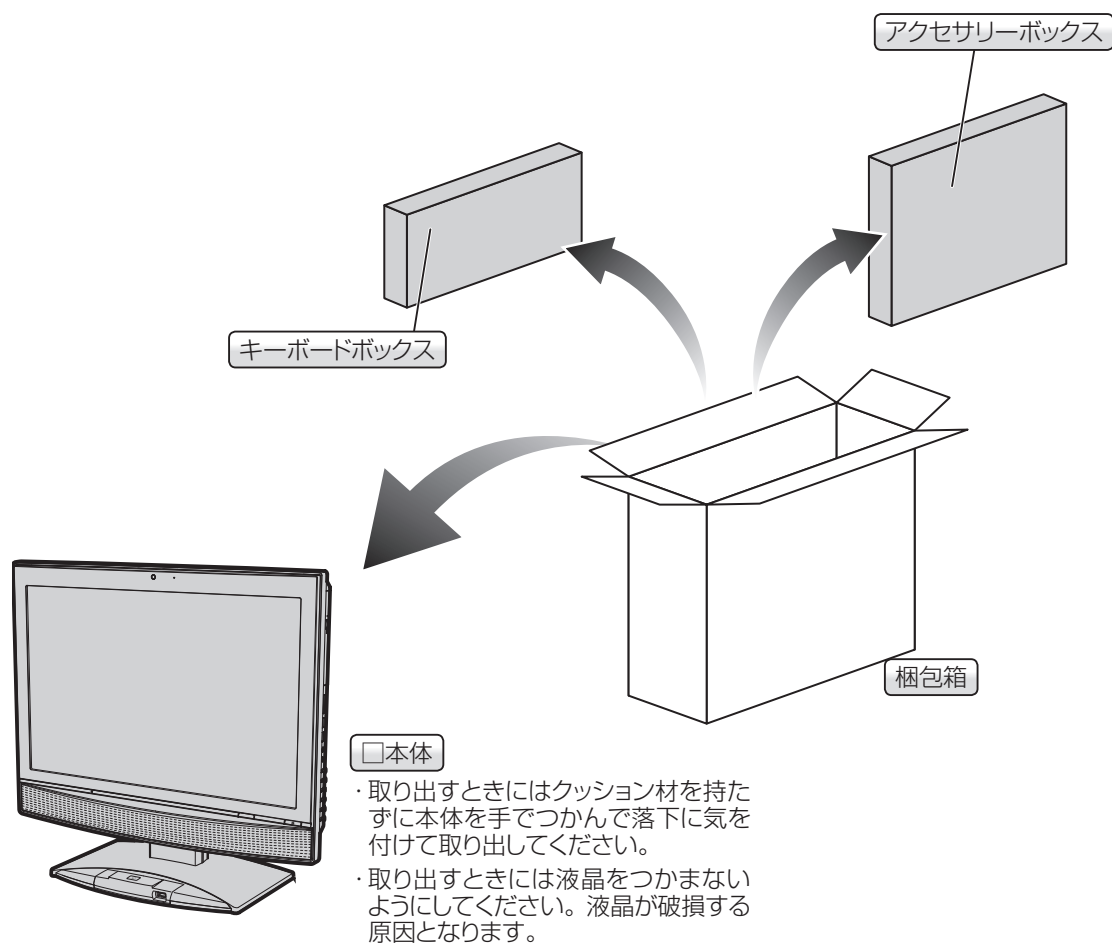
本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

(社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)



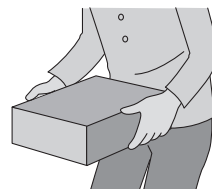
# STEP1 梱包箱を開けてみる

開梱の際は、安定した広めの場所で行いましょう。  
下図を参考に、注意しながら作業をはじめましょう。  
※梱包材の形状は図と異なる場合があります。



注意

保護袋に入っていますので運ぶ際には、中の本体までしっかりと両手でつかってください。





## STEP2 付属品を確認する

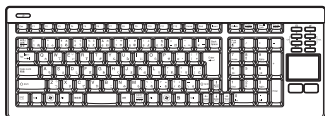
梱包箱を開梱したら、付属品の確認をおこないましょう。

万一、付属品の不足や不良がありましたら、付属の「サポート・ガイド」または「ケア・シート」に記載のオンキヨー/ソーテックカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。

### キーボードボックス

☐ ワイヤレス日本語キーボード

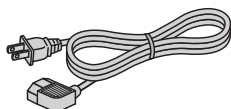
☐ 単3乾電池 2本 (ワイヤレスキーボード用)



### アクセサリボックス

☐ 電源ケーブル

☐ スクロール機能付ワイヤレスマウス



☐ iPodクレイドル

☐ 単4乾電池 2本 (ワイヤレスマウス用)

地上デジタルテレビ搭載モデルのみ

☐ B-CASカード

☐ リモコン

☐ 単4乾電池 2本 (リモコン用)

### ■ マニュアル冊子等

☐ ユーザーズガイド **1** (本書)

☐ Windows 7案内ガイド  
(マイクロソフト製)

☐ i-フィルター設定ガイド

※その他、お知らせが付属する場合があります。

☐ カスタマー登録ガイド

☐ ケア・シート

☐ サポート・ガイド

### ■ CD-ROM

☐ Windows 7修復用CD

Microsoft® Office付属モデルまたはB.T.O.で選択されたお客様

☐ Officeパック  
(取扱説明書およびCD-ROM)

アプリケーションCD-ROMをB.T.O.で選択されたお客様

☐ アプリケーションCD-ROM

※製品をB.T.O.でご購入された場合、お客様が選択されたB.T.O.構成により付属品が変わることがございます。ご了承ください。

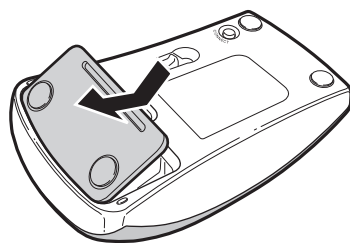
## STEP3 必要な機器を接続する

必要な機器を接続しましょう。スキャナーやプリンターなど、すでに周辺機器をお持ちの場合でも、Windows 7のセットアップが終了するまでは接続しないでください。

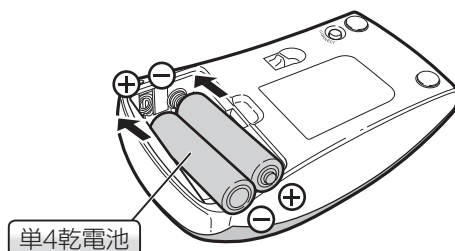
### マウス・キーボード・リモコンに電池を入れる

#### ■ マウス

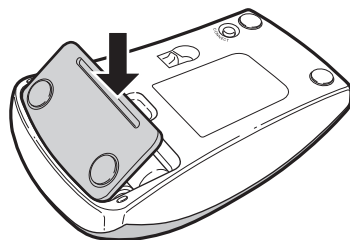
1. マウス底面の電池カバーを開けます。



2. 付属の単4乾電池を入れます。

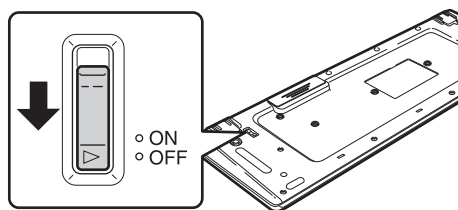


3. マウス底面の電池カバーを閉めます。

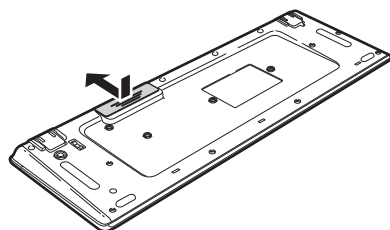


#### ■ キーボード

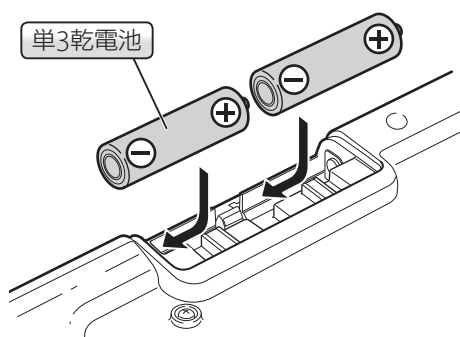
1. キーボード底面の電源スイッチを「OFF」にします。



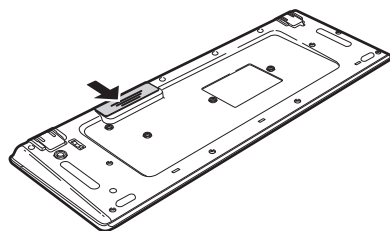
2. キーボード底面の電池カバーを開けます。



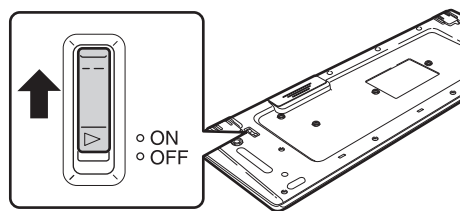
### 3. 付属の単3乾電池を入れます。



### 4. キーボード底面の電池カバーを閉めます。

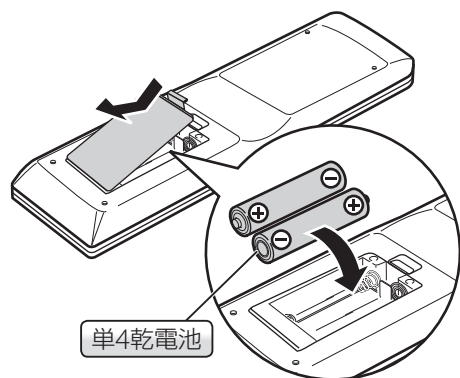


### 5. キーボード底面の電源スイッチを「ON」にします。

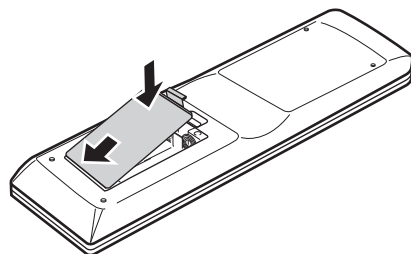


## ■ リモコン 地上デジタルテレビ搭載モデルのみ

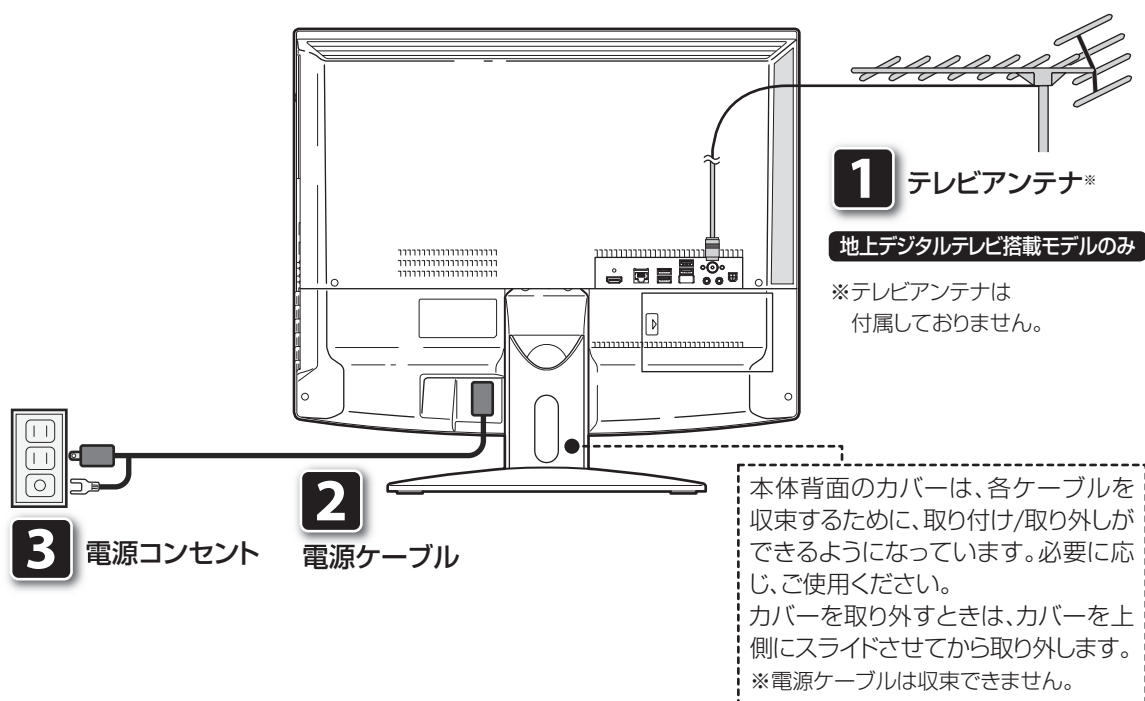
### 1. リモコン底面の電池カバーを開けて、付属の単4乾電池を入れます。



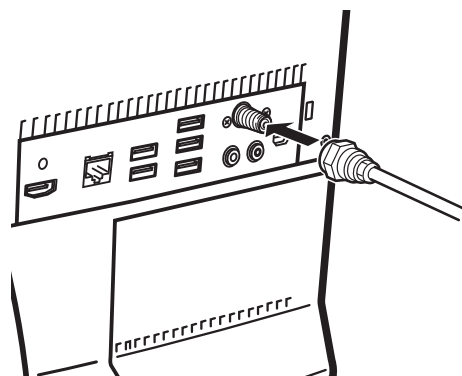
### 2. リモコン底面の電池カバーを閉めます。



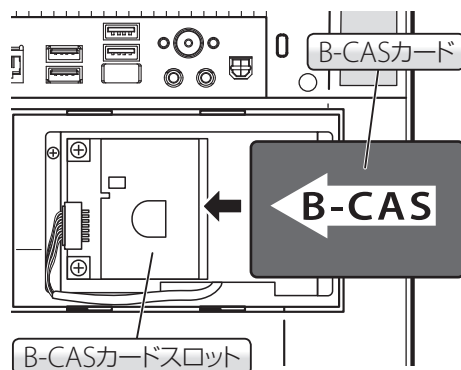
## ケーブルの接続



- 1** テレビアンテナ 地上デジタルテレビ搭載モデルのみ
- テレビアンテナ端子に、ご家庭のテレビアンテナケーブル(別売)を差し込みます。



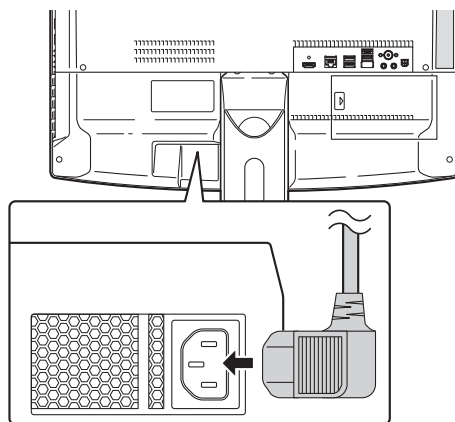
地上デジタル放送を視聴するには、本機にB-CASカードを取り付ける必要があります。付属のB-CASカードを、本体背面のB-CASカードスロットに奥まで差し込みます。このとき、「B-CAS」の文字が図の向きと同じになるように、矢印の方向に奥まで差し込みます。



## 2

### 電源ケーブル

電源端子に電源ケーブルを差し込みます。



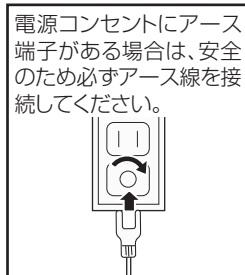
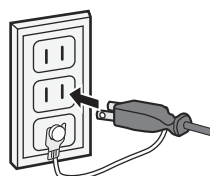
## 3

### 電源コンセント

電源コンセントに、電源プラグを差し込みます。

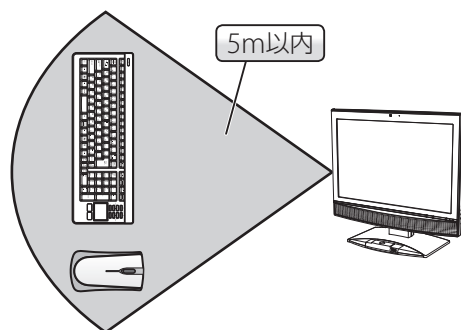


アース線を電源コンセントに接続しない場合は、アース端子がショートしないように注意してください。



## マウスとキーボードを本機に認識させる

1. キーボード底面の電源スイッチを「ON」にします。
2. マウスとキーボードを、本機から5m以内に近づけておきます。



3. 本機の電源を入れます。
4. しばらくすると「Windowsのセットアップ」が起動します。

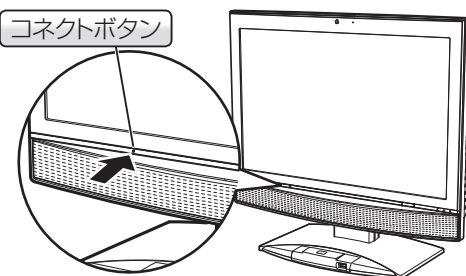


ここでは、マウスとキーボードを本機に認識させる作業をおこないますので、Windowsのセットアップはまだおこなわないでください。Windowsのセットアップは「STEP5 Windows 7をセットアップする」(P.18ページ)でおこないます。

5. 本機前面のコネクトボタンを、ペン先など先の細いもので押します。



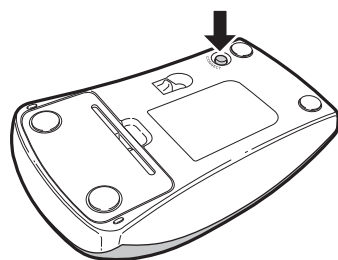
コネクトボタンを押すときは、力を入れすぎず、ゆっくり押してください。



6. マウス底面の「CONNECT」ボタンを押します。



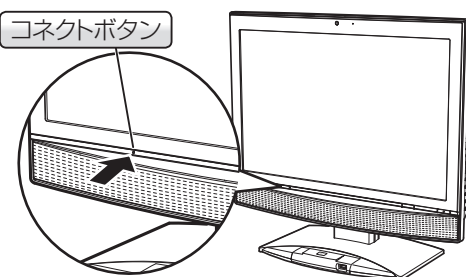
CONNECTボタンは、約6秒程度押し続けてください。



7. 本機前面のコネクトボタンを、ペン先など先の細いもので押します。



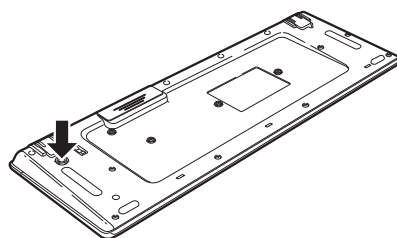
コネクトボタンを押すときは、力を入れすぎず、ゆっくり押してください。



8. キーボード底面の「CONNECT」ボタンを押します。



CONNECTボタンは、約6秒程度押し続けてください。



9. マウスを動かして、マウスが正しく認識されているかどうか確認します。

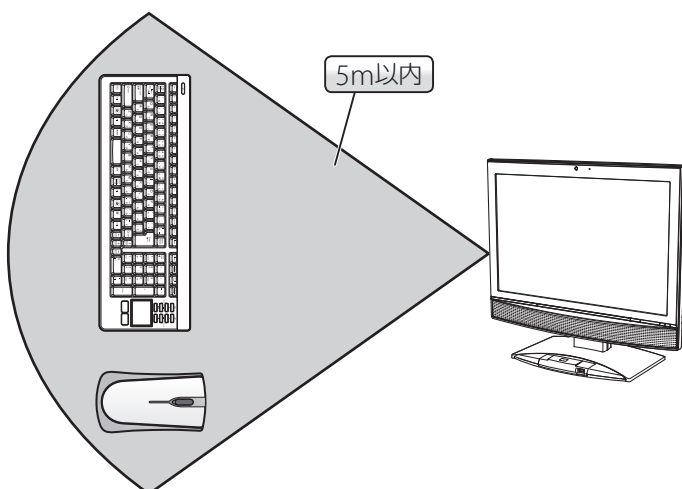


- ・画面上のマウスカーソル（マウスポインター）が動けば、正しく認識されています。
- ・キーボードが正しく認識されているかどうかは、「STEP5 Windows 7をセットアップする」手順3（19ページ）のユーザー名の入力で確認してください。
- ・正しく接続されていない場合は、再度5～8の手順をおこなってください。

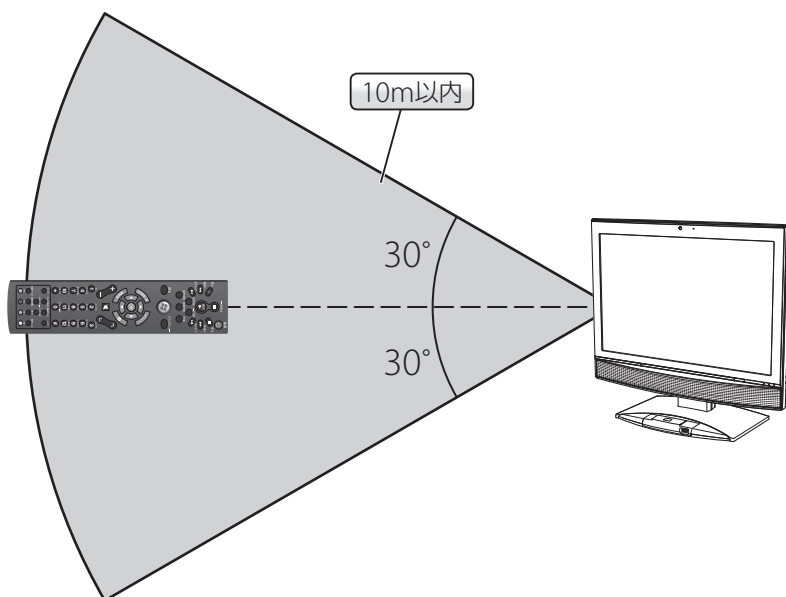
## マウス・キーボード・リモコンの操作できる範囲

マウス、キーボード、リモコンは、次の範囲内で操作してください。

### ■ マウス・キーボード



### ■ リモコン 地上デジタルテレビ搭載モデルのみ





# STEP4 地上デジタルテレビを視聴する



## 地上デジタルテレビ搭載モデルのみ

本機は、地上デジタルテレビチューナーを搭載しています。ここでは、地上デジタルテレビを視聴するために必要な準備作業をおこないます。

### 地上デジタル放送について

本機は、地上デジタル放送のみに対応しており、BSデジタル放送・110度CSデジタル放送・アナログ放送には対応しておりません。

#### 地上デジタル放送の対応について

- ・デジタルハイビジョン放送に対応  
高画質できめ細やかな映像が楽しめます。
- ・多チャンネル放送に対応  
デジタル圧縮技術によって、1つのテレビ放送局で複数の番組を楽しめます。
- ・データ放送に対応  
文字や図などで情報を提供する放送です。地域に密着したニュースや天気予報などがあります。
- ・双方向番組に対応  
LAN接続することによってデータ放送の双方向番組に参加することができます。
- ・電子番組表  
デジタル放送では電子番組表（EPG）の情報が送信されており、見たい番組を探したり、番組情報を見たり、番組を予約したりするのに、この電子番組表（EPG）を使用します。
- ・ケーブルテレビ（CATV）放送対応について  
本機では、CATV放送の「パススルー方式」に対応しております。「トランスモジュレーション方式」は対応しておりません。  
CATVによる地上デジタル放送の視聴についてはお客様が契約されているケーブルテレビ会社にお問合わせください。



地上デジタル放送の視聴については「StationTV」にておこないます。操作手順については「StationTV」の電子マニュアルをご覧ください。

[スタート] ボタン → [すべてのプログラム] → [PIXELA] → [StationTV] → [StationTV取扱説明書]

### B-CASカードについて

- ・B-CASカードは、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（略称：B-CAS）からお客様へ貸与されているものです。お客様がカードのパッケージを開封すると、お客様と(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズとの間にB-CASカード使用許諾契約が成立したものとみなされます。
- ・B-CASカードは、B-CASカード使用許諾契約約款にしたがって管理してください。
- ・B-CASカードを紛失、盗難、破損した場合の対応や、その他B-CASカードに関する質問は、下記のB-CASカスタマーセンターへお問い合わせください。

お問い合わせ先  
(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ  
(略称：B-CAS) カスタマーセンター  
TEL：0570-000-250

## 視聴に必要なもの

地上デジタル放送を見るために必要なものは、次の通りです。

- ・ B-CASカード (地上デジタルテレビ搭載モデルのみ付属)



以下のものは付属されていません。必要に応じてご用意ください。

- ・ F型コネクタープラグ付テレビアンテナケーブル



- ・ UHFアンテナ (地上デジタル放送対応)
- ・ その他必要に応じて用意するもの
  - ・ 分波器

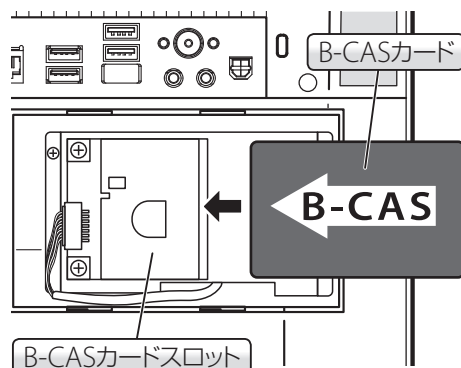
## B-CASカードを取り付ける

付属のB-CASカードを、本体背面のB-CASカードスロットに差し込みます。このとき、「B-CAS」の文字が図の向きと同じになるように、矢印の方向に奥まで差し込みます。



注意

- ・ B-CASカードの取り付け、およびテレビアンテナケーブルの接続は、本機および周辺機器の電源が入っていないこと、本機に電源ケーブルが接続されていないことを確認した後に、おこなってください。
- ・ 地上デジタル放送を視聴する前に、必ず本機にB-CASカードを取り付けてください。B-CASカードを取り付けないと、地上デジタル放送を視聴できません。

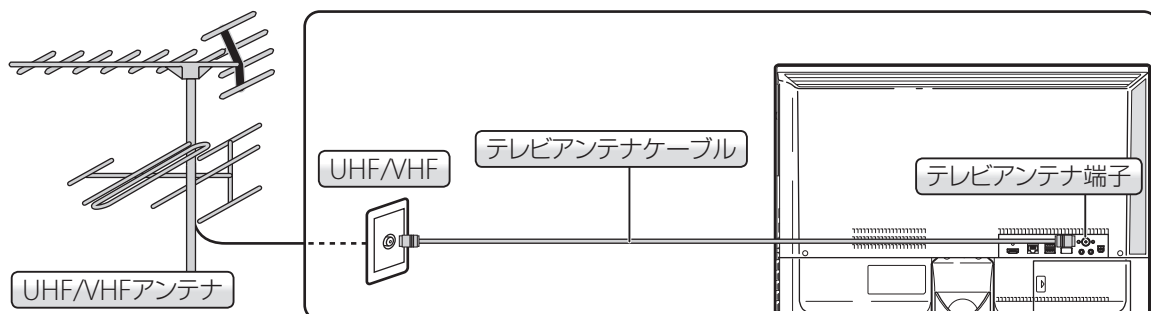


修理の場合は、B-CASカードはお手元にお持ちください。

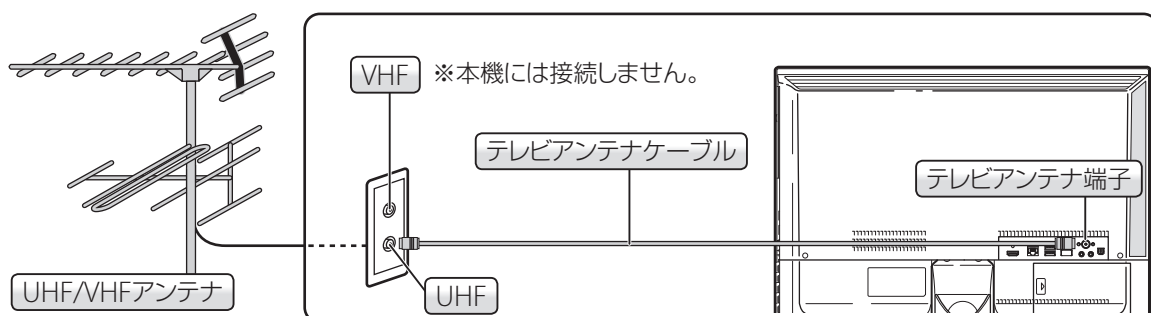
## テレビアンテナケーブルを接続する

ご家庭のアンテナコネクターと本機のテレビアンテナ端子に、テレビアンテナケーブルを接続します。ここでは、テレビアンテナケーブルの代表的な接続例を紹介します。

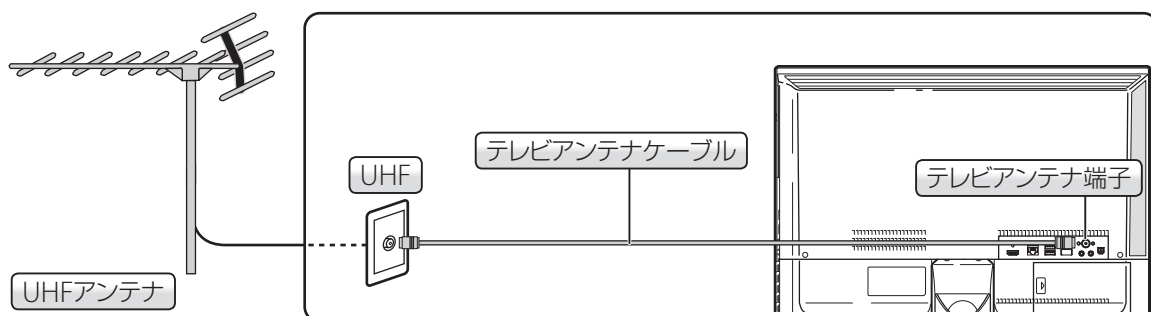
UHF/VHFアンテナで、壁側のアンテナコネクターが1つの場合



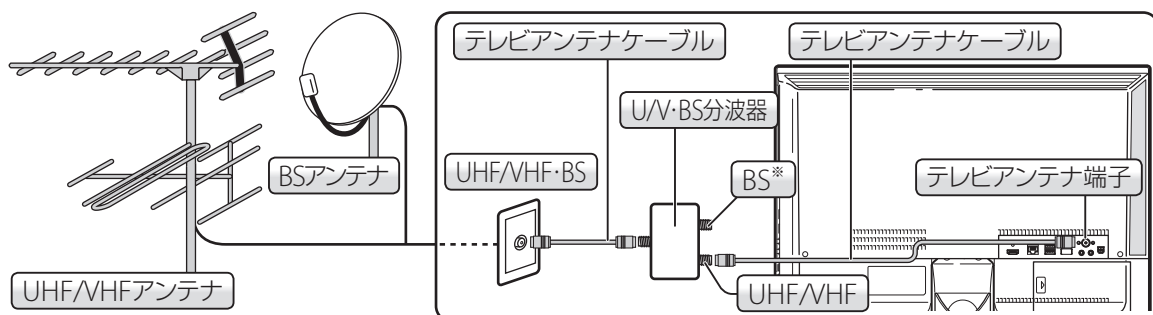
UHF/VHFアンテナで、壁側のアンテナコネクターが2つの場合



UHFアンテナのみの場合

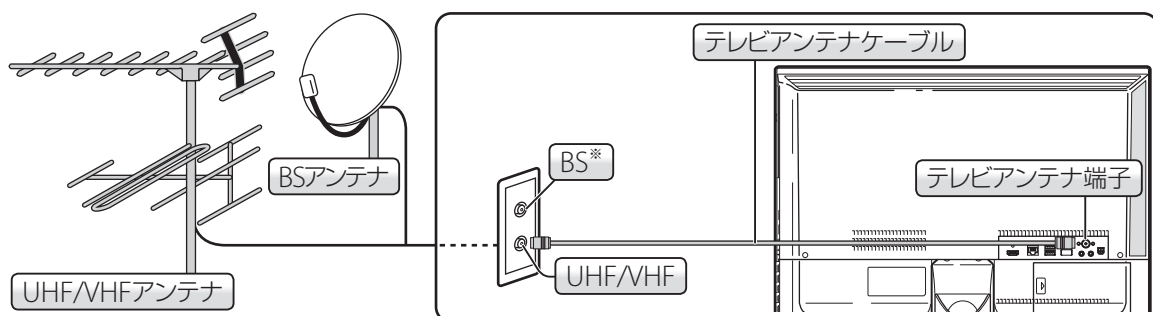


UHF/VHFアンテナとBSアンテナで、壁側のアンテナコネクターが1つの場合



※本機には接続しません。

UHF/VHFアンテナとBSアンテナで、壁側のアンテナコネクターが2つの場合



※本機には接続しません。



注意

- ・地上デジタル放送に対応していないUHFアンテナや、VHFアンテナを使用している場合は、地上デジタル放送を受信できません。
- ・お住まいの地域が地上デジタル放送の放送エリア外の場合は、地上デジタル放送を受信できません。また、お住まいの地域が放送エリア内であっても、電波の受信状況によっては受信できない場合があります。
- ・本機で視聴できる放送は、地上デジタル放送のみです。地上アナログ放送、BS・110度CSデジタル放送は視聴できません。
- ・デジタル放送のデータ放送で双方向通信をする場合は、インターネットに接続する必要があります。

## 地上デジタルテレビを視聴するには

テレビ用ソフトウェア「StationTV」を利用します。

テレビ用ソフトウェア「StationTV」では、地上デジタル放送を見たり、録画したりすることができます。「StationTV」の必要な設定は、「StationTV」の電子マニュアルをご覧ください。

[スタート] ボタン→ [すべてのプログラム] → [PIXELA] → [StationTV] → [StationTV取扱説明書]

# STEP5 Windows 7をセットアップする



必要な機器を接続した後、Windows 7をセットアップしましょう。  
Windows 7のセットアップが終了すれば、本機のセットアップは完了です。

## セットアップの準備をする

Windows 7のセットアップ中は、画面の切り替えに少し時間がかかることがあります。「しばらくお待ちください」といったメッセージが表示されたり、マウスカーソル（マウスポインター）が待機中を知らせる形になっているときは、キーボードのキーやマウスのボタンを何度も押さないでください。



### ・操作の途中で電源を切らない！

Windowsのセットアップには、時間がかかります。Windowsのセットアップ中は、絶対にパソコンの電源をOFFにしないでください。セットアップが終わる前に電源をOFFにすると、故障の原因となります。

### ・画面表示が消えてしまったら・・・

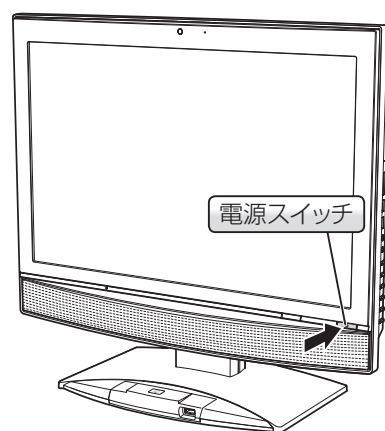
セットアップの途中で、しばらく操作をせず放置すると、画面表示が消えてしまうことがあります。タッチパッドやキーボードの適当なキーを押すと、再度表示されます。



「マウスとキーボードを本機に認識させる」(P.11ページ)を終えて、すでに本機の電源が入っている場合は、手順2から作業を進めてください。

## 1. 電源スイッチを押します。

本機の電源をONにしてから、しばらくの間は、画面の表示がいろいろ変化します。手順2の画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。



## 2. 次のように設定してください。

「国または地域」：日本

「時刻と通貨の形式」：日本語（日本）

「キーボードレイアウト」：Microsoft IME

確認後、[次へ] ボタンをクリックします。



画面はWindows 7 Home Premiumで説明していますが、セットアップの手順はWindows 7 Professional、その他と同じ流れになります。

次の画面が表示されます。



### 3. 「ユーザー名を入力してください」にユーザー名を任意で入力します。



「ユーザー名」「コンピューター名」「パスワード」は、忘れないように控えをとっておいてください。



### 4. 必要に応じ、「コンピューター名を入力してください」のコンピューター名を変更します。

ユーザー名を入力すると、ユーザー名の後ろに「-PC」と付いたコンピューター名が自動的に入力されます。



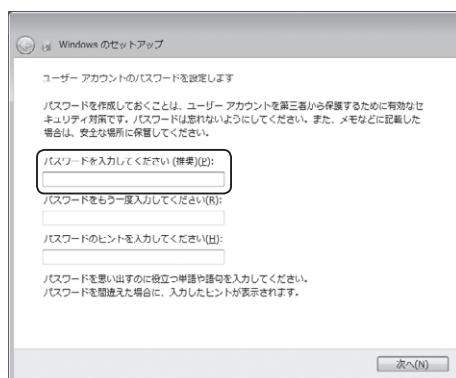
### 5. [次へ] ボタンをクリックします。

次の画面が表示されます。

### 6. 必要に応じて、「パスワードを入力してください」に任意のパスワードを入力します。



セキュリティ上の観点から、パスワードを設定しておくことをおすすめします。パスワードを設定しない場合は、手順9に進みます。

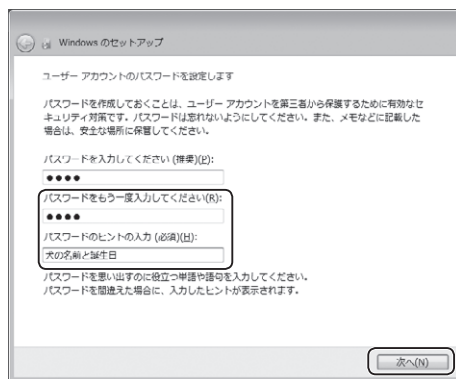



### 7. 「パスワードをもう一度入力してください」に手順6で入力したパスワードを再度入力します。

### 8. 「パスワードのヒントの入力」にパスワードを思い出すためのヒントを入力します。

### 9. [次へ] ボタンをクリックします。

次の画面が表示されます。

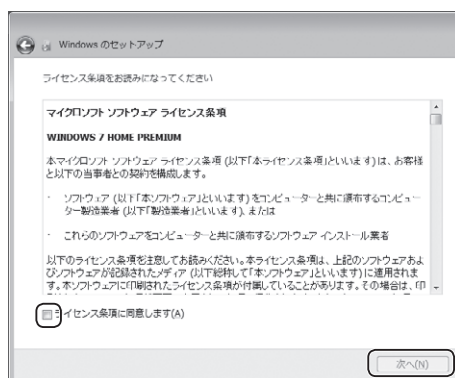


10. ライセンス条項をお読みの上、「ライセンス条項に同意します」をクリックしてチェックを入れ、[次へ] ボタンをクリックします。



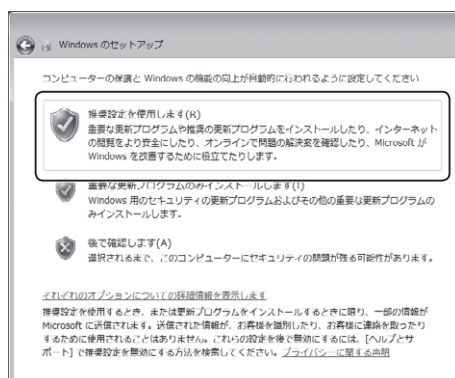
ライセンス条項に同意しなければ、Windowsのセットアップを続けることはできません。

次の画面が表示されます。



11. 「推奨設定を使用します」をクリックします。

次の画面が表示されます。



12. 現在の日付、および時刻を正しく設定して、[次へ] ボタンをクリックします。

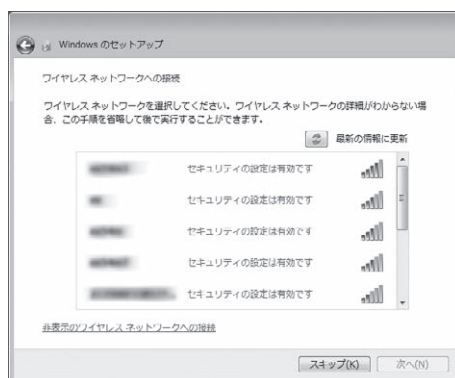
次の画面が表示されます。



13. ワイヤレスLANの設定をセットアップ終了後におこなう場合、[スキップ] ボタンをクリックします。



すでにワイヤレスLANの接続環境が整っており、ここでワイヤレスLANの設定をおこなう場合は、接続先を選択して[次へ] ボタンをクリックします。





## 14. 本機がネットワークに接続されている場合、接続環境にあわせて接続場所を選択します。



本機がネットワークに接続されていない場合、この画面は表示されません。



不明な場合は「パブリックネットワーク」を選択し、Windows 7のセットアップの終了後に設定してください。



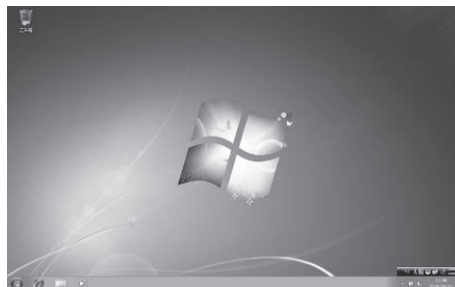
## 15. Windows Liveの設定をセットアップ終了後におこなう場合は、[キャンセル] ボタンをクリックします。



ここでWindows Liveの設定をおこなう場合は、[同意する] ボタンをクリックして、画面の指示にしたがって設定してください。



しばらくすると自動的に再起動し、デスクトップ画面が表示されます。



以上で、Windows 7のセットアップは完了です。

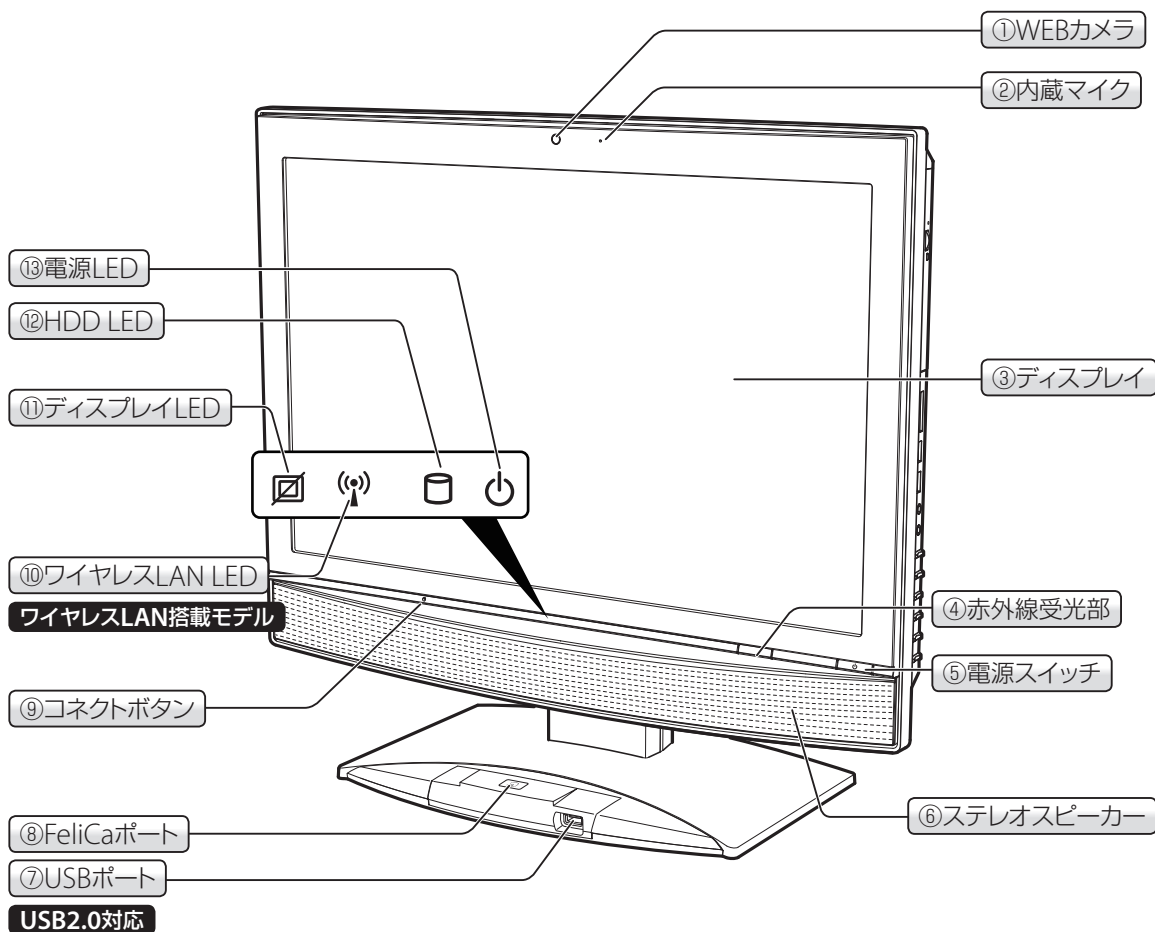
## STEP6 各部の名前と機能を確認する



本体各部の名前とその機能について説明しています。

各部の詳細な説明、および周辺機器との接続方法については、ユーザズガイド**2**をご参照ください。

まえ



### ① WEBカメラ

静止画や映像を本機に取り込みます。

### ② 内蔵マイク

音声を本機に取り込みます。

### ③ ディスプレイ

文字やグラフィックが表示されます。

省電力機能によりパソコンが動作していなければ、自動的にディスプレイの表示が消えるように設定できます。

## ④ 赤外線受光部

リモコンからの電波を受信します。



地上デジタルテレビが搭載されていない場合、この受光部は機能しません。

## ⑤ 電源スイッチ

電源OFF時に押すと、本機の電源がONになります。(P.18ページ)

電源ON時に押すと、設定した動作を実行します。初期状態ではスリープ状態に設定されています。

設定は[スタート]ボタン→[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]→[電源オプション]欄の[電源ボタンの動作の選択]で選択できます。



注意

- ・HDD LEDが点灯している間は、電源をOFFにしないでください。ドライブの故障、またはデータの破損の恐れがあります。
- ・電源をOFFにしたあとに再度電源をONにするときは、5秒以上待ってから操作してください。

## ⑥ ステレオスピーカー

Windowsのシステム音や、マルチメディアを使用したときの音声が出力されます。

⑦ USBポート **USB2.0対応**

USB2.0対応の周辺機器を接続します。

また、本体前面右側のUSBポートには、iPodクレイドルを接続できます。

USB1.1対応の周辺機器も接続できます。ただし、転送速度などはUSB1.1規格 (Full-Speed) に基づきます。



本体前面のUSBポートは、iPodクレイドル用です。iPodクレイドル以外のUSB機器は、本機背面および本機側面のUSBポートに接続してください。

## ⑧ FeliCaポート

FeliCaに対応した非接触ICカードの読み書きがおこなえます。

## ⑨ コネクトボタン

マウス・キーボードを本機に認識させます。(P.11～12ページ)

⑩ ワイヤレスLAN LED (無線LAN) **ワイヤレスLAN搭載モデル**

ワイヤレスLANの機能が作動すると点灯します。

## ⑪ ディスプレイLED (表示)

ディスプレイの画面表示がOFFのときに点灯します。

⑫ HDD LED (ハードディスク) エイチディーディー

ハードディスクドライブまたは光ディスクドライブのアクセス中に点灯します。

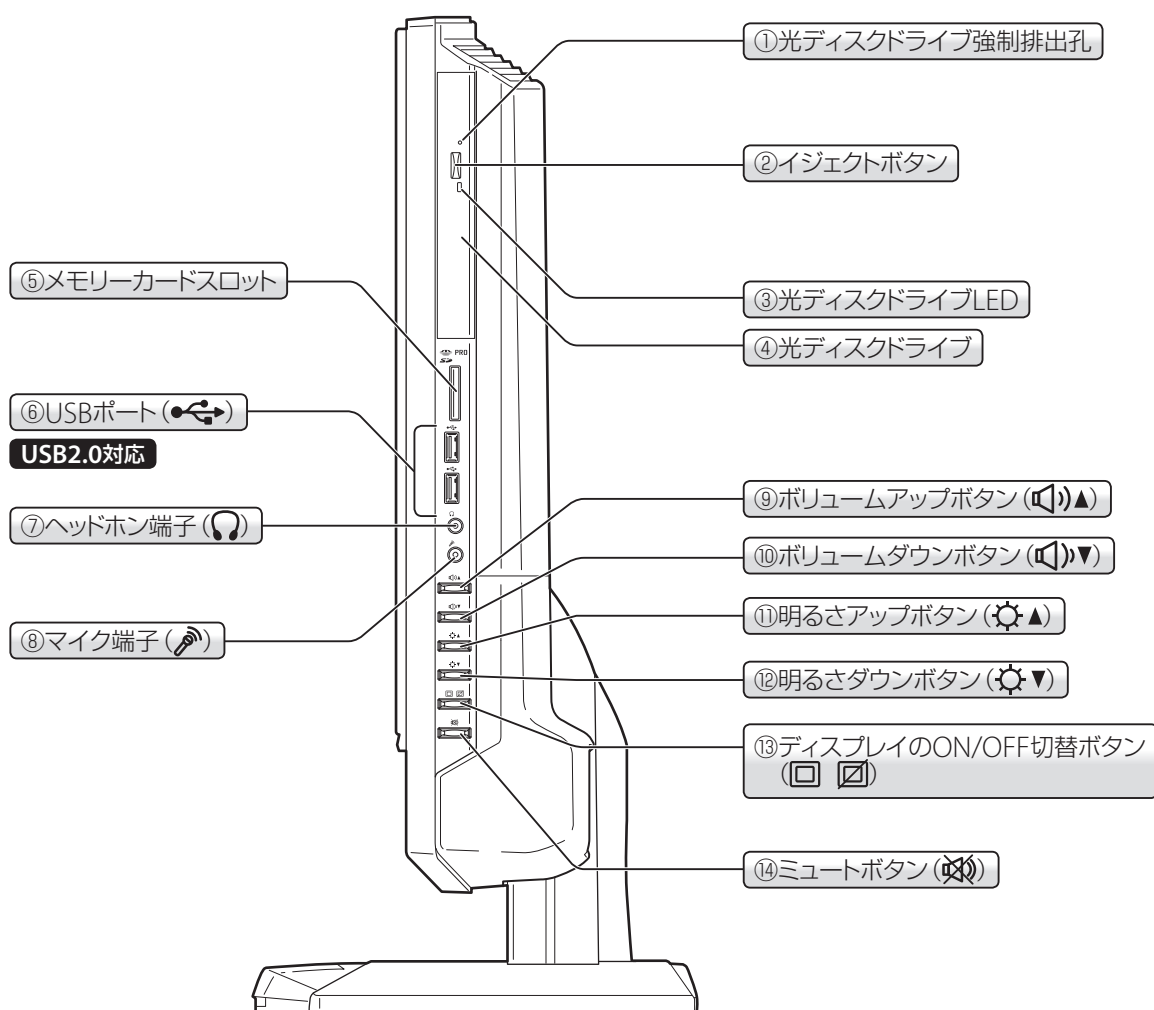


注意

- ・HDD LEDが点灯している間は、電源をOFFにしないでください。ドライブの故障、またはデータの破損の恐れがあります。
- ・電源をOFFにしたあとに再度電源をONするときは、5秒以上待ってから操作してください。

## ⑬ 電源LED (電源)

電源が入っている状態を表示します。



# ① 光ディスクドライブ強制排出孔

イジェクトボタンを押しても光ディスクドライブのトレイが出てこない場合に使用します。この排出孔に針金などを押し込むと、光ディスクドライブのトレイを強制的に排出させることができます。



光ディスクドライブが正常に動作している場合は使用しないでください。故障の原因となります。

# ② イジェクトボタン

光ディスクドライブにディスクを入れるとき、または取り出すときに押すボタンです。

# ③ 光ディスクドライブLED

光ディスクドライブのアクセス中に点灯します。

# ④ 光ディスクドライブ

光ディスクドライブが読み込み可能なディスクを入れます。



光ディスクドライブの仕様は、製品の構成によって異なります。

# ⑤ メモリーカードスロット

各種メモリーカードを差し込むスロットです。



- ・「miniSDカード」または「メモリースティックデュオ」など、ユーザーズガイド **2**「メモリーカードの使用」に記載のない種類のカードは、本機で使用できません。メモリーカードを本機に挿入する前に、種類を確認してください。
- ・メモリーカードには差し込む向きがあります。方向を確認して、正しく差し込んでください。

# ⑥ USBポート (USB2.0対応)

USB2.0対応の周辺機器を接続します。

USB1.1対応の周辺機器も接続できます。ただし、転送速度などはUSB1.1規格 (Full-Speed) に基づきます。

# ⑦ ヘッドホン端子

ヘッドホンを接続します。

# ⑧ マイク端子

マイクロホンを接続します。マイクロホンからの音声を本機に取り込みます。

# ⑨ ボリュームアップボタン

1回押すごとに、パソコンから出力される音量が大きくなります。

# ⑩ ボリュームダウンボタン

1回押すごとに、パソコンから出力される音量が小さくなります。

# ⑪ 明るさアップボタン

1回押すごとに、ディスプレイの明るさが上がります。

# ⑫ 明るさダウンボタン

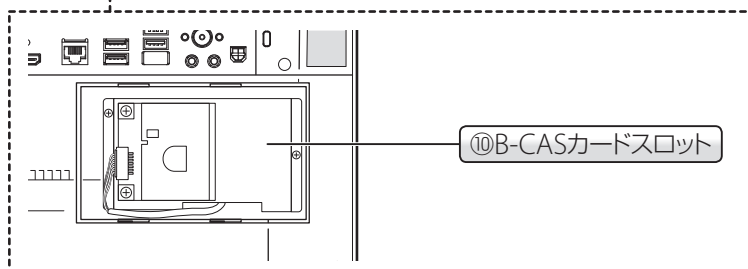
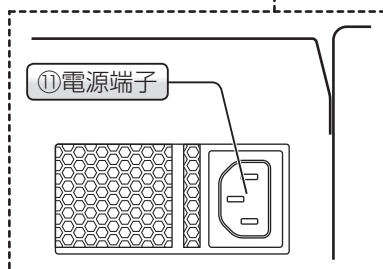
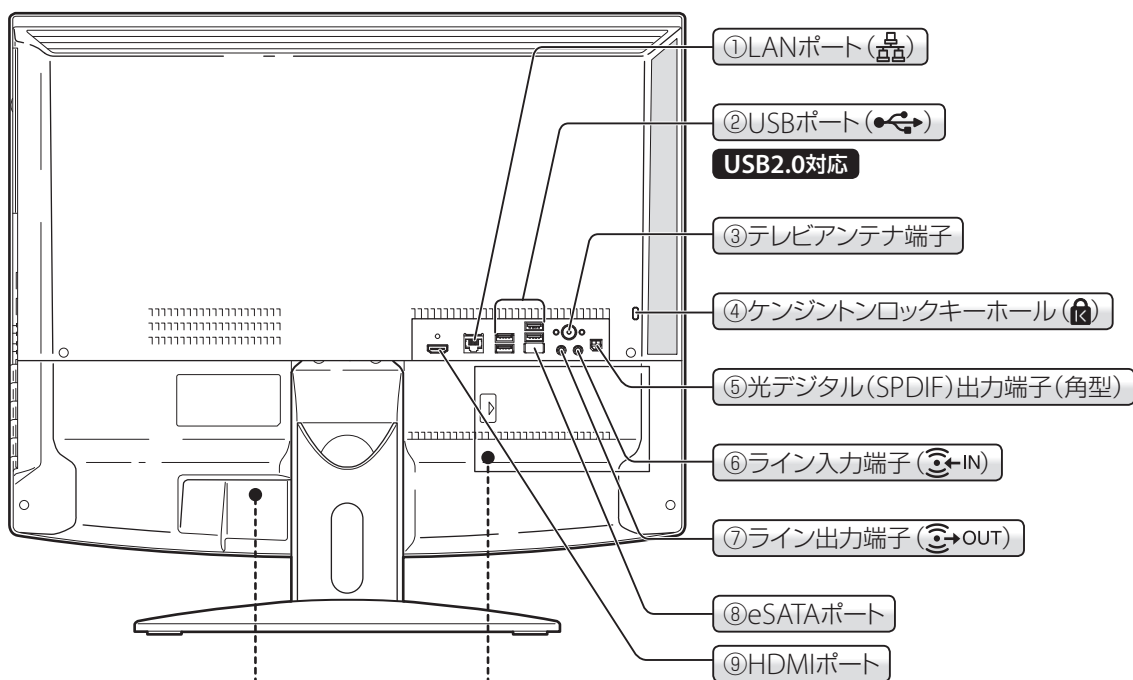
1回押すごとに、ディスプレイの明るさが下がります。

# ⑬ ディスプレイのON/OFF切替ボタン

1回押すごとに、ディスプレイの表示/非表示を切り替えます。

# ⑭ ミュートボタン

パソコンから出力される音声をOFFにします。



## ① LANポート (品)

10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-TのLAN接続ができます。



本機のLANポートに接続できるケーブルは10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T規格のイーサネットケーブルだけです。それ以外の規格のケーブルは使用しないでください。特にISDNケーブル、モジュラーケーブルは、絶対にLANポートへ接続しないでください。故障の原因となります。

## ② USBポート (品)

**USB2.0対応**

USB2.0対応の周辺機器を接続します。

USB1.1対応の周辺機器も接続できます。ただし、転送速度などはUSB1.1規格 (Full-Speed) に基づきます。

## ③ テレビアンテナ端子

ご家庭のテレビアンテナケーブルを接続して、地上デジタル放送を視聴できます。

(P.10～11、16～17ページ)



本機で視聴できる放送は、地上デジタル放送のみです。地上アナログ放送、BS・110度CSデジタル放送は視聴できません。

## ④ ケンジントンロックキーホール (品)

盗難防止用のロックに使用する取り付け穴です。

## ⑤ 光デジタル (SPDIF) 出力端子 (角型)

光デジタル入力端子を持つオーディオ機器を接続します。

## ⑥ ライン入力端子 (品-IN)

外部オーディオ機器を接続し、音声を本機に取り込みます。

## ⑦ ライン出力端子 (品-OUT)

AMP内蔵スピーカーを接続します。

## ⑧ eSATAポート

eSATAインターフェースに対応しているSerial ATA (SATA) 規格の周辺機器を接続します。

## ⑨ HDMIポート

HDMI端子付きのディスプレイやテレビに接続します。



- ・HDMI対応のディスプレイやテレビと接続する場合、本機およびディスプレイ (テレビ) にスピーカーケーブルを接続する必要はありません。HDMIポートにHDMI信号ケーブルを接続したままスピーカーケーブルを接続すると、音声がなくなる場合があります。
- ・このHDMIポートは、映像・音声を他のHDMI対応機器に出力するためのものです。HDMI端子付きのHDDレコーダーなどを接続しても、映像・音声を本機で再生することはできません。

## ⑩ B-CASカードスロット

地上デジタル放送の視聴に必要なB-CASカードを差し込むスロットです。(P.15ページ)

## ⑪ 電源端子

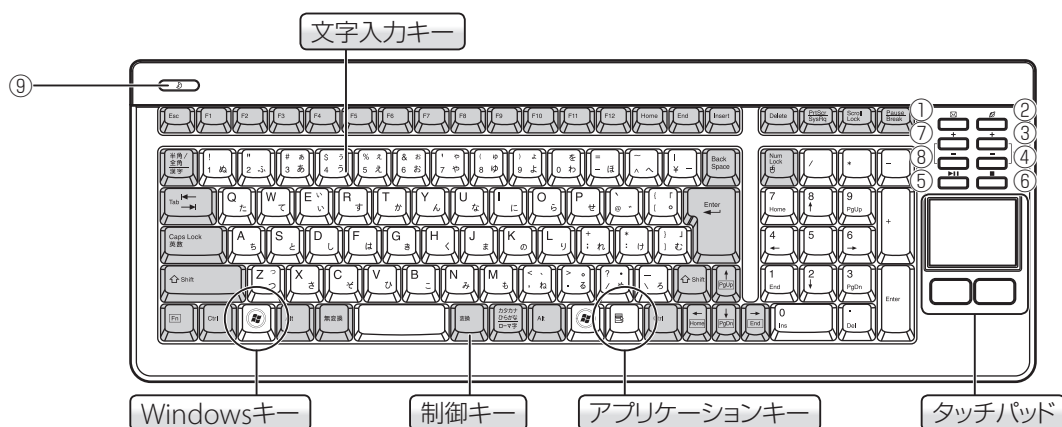
電源ケーブルを接続します。(P.10～11ページ)



## キーボードの各部の役割








キーはその機能によって、役割が大きく分かります。

本書では便宜上、色分けをして説明しています。実際のキーボードは色分けされていません。



### ■ Windowsキー

単独で押すとWindowsの「スタート」メニューを表示します。次のキーと合わせて押すと、Windowsの代表となる機能がすぐに使えます。

-  + **F1** Windowsの「Windowsヘルプとサポート」を表示
-  + **M** ウィンドウの最小化
-  + **T** タスクバーに表示されているボタンの切り替え
-  + **R** 【ファイル名を指定して実行】ダイアログを表示
-  + **E** 【コンピューター】ウィンドウを表示
-  + **F** ファイルとフォルダー検索画面を起動
-  + **Pause** 【システム】ダイアログを表示

 HomePremiumモデルをご導入の場合、Windows Aero機能を使用すると、 + **Tab** キーの操作で、Windowsフリップ3Dによるソフトウェアの切り替えができます。

### ■ アプリケーションキー

マウスの右ボタンに相当します。使用するアプリケーションによって動作が異なります。お使いのアプリケーションソフトのマニュアルを参照してください。

### ■ 制御キー(灰色の部分)

文字入力キーと組み合わせて使うキー、入力位置を決めるキー、パソコンに対してコマンド(命令)を送るキーなどです。これらのキーだけを使って文字を直接入力することはできません。

### ■ 文字入力キー

主に、アルファベットやひらがな、カタカナ、数字、記号などを入力するためのキーです。1つのキーに2つ以上の文字が割り当てられており、**CapsLock** **Shift** **NumLock** ひらがな **カタカナ** の各キーと組み合わせ、目的の文字が入力できます。

## ■ タッチパッド

マウスと同じはたらきを持ち、マウスを使わずにWindowsを操作できます。

## ■ ワンタッチで割り当てられている機能を実行する

### ① e-mailボタン

メールソフトを設定しておく、設定したメールソフトが起動します。

### ② インターネットボタン

Internet Explorerが起動します。Internet Explorerの使用時に押すと、設定されたホームページにジャンプします。

## ■ 音量を調整する

### ③ ボリュームアップボタン

1回押すごとに、パソコンから出力される音量が大きくなります。

### ④ ボリュームダウンボタン

1回押すごとに、パソコンから出力される音量が小さくなります。

## ■ 音楽CD、DVDビデオ、音声ファイル、ビデオファイルを操作する

### ⑤ 再生/一時停止ボタン

ファイル、トラックを再生/一時停止します。

### ⑥ 停止ボタン

ファイル、トラックを停止します。

## ■ テレビを操作する

### ⑦ チャンネルアップボタン

テレビのチャンネルを切り替えます。

### ⑧ チャンネルダウンボタン

テレビのチャンネルを切り替えます。

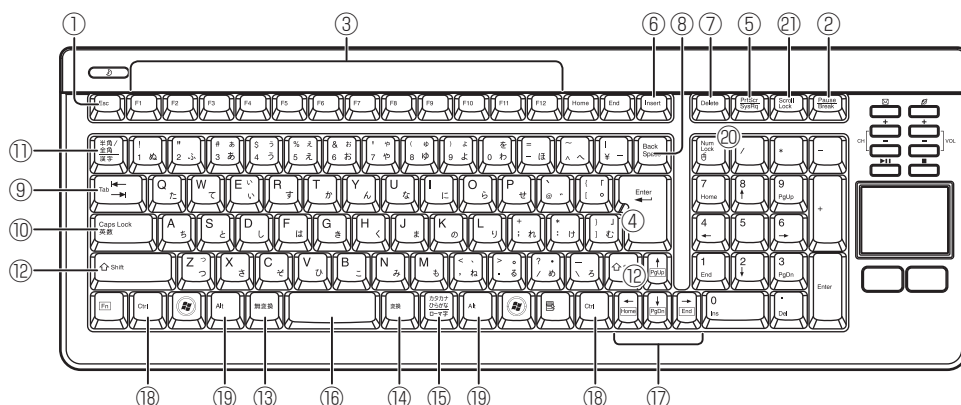
## ■ 電源を操作する

### ⑨ スリープボタン

本機をスリープ状態に切り替えます。

## 各キーの機能

### ワイヤレス日本語キーボード



### ■ 中止や中断させるコマンド (命令) を送る

- ① **Esc(エスケープ) キー**  
設定を取り消したり、実行を中止します。
- ② **Pause/Break(ポーズ/ブレイク) キー**  
ソフトウェアによっては動作が割り当てられており、実行されている命令を中断したり、ブレイク信号を送ります。

### ■ 設定されている機能呼び出す

- ③ **ファンクションキー**  
[F1]から[F12]キーまでの12個のキーにそれぞれ別の機能やコマンド (命令) が割り付けられています。キーを押したときの動作はソフトウェアにより異なります。

### ■ コマンド (命令) や設定された機能を決定する

- ④ **Enter(エンター) キー**  
あるコマンド (命令) の実行を決定したり、設定された機能を確定させます。文字を入力しているときは、このキーで改行できます。

### ■ 画面のハードコピーをとる

- ⑤ **PrtScr(プリントスクリーン) キー**  
表示されている画面を取り込んでクリップボードに転送します。

### ■ 文字を編集する

- ⑥ **Insert(インサート) キー【ロックされます】**  
文字入力モードを切り替えます。1回押すごとに、カーソル位置にある文字の間に入れる「インサートモード」と、カーソル位置の文字に上書きする「オーバーライトモード」が切り替わります。
- ⑦ **Delete(デリート) キー**  
カーソル位置から右側の文字を削除します。カーソル位置は変わりません。
- ⑧ **Back Space(バックスペース) キー**  
カーソル位置から、左側の文字を削除します。カーソル位置は左に動きます。
- ⑨ **Tab(タブ) キー**  
文字を入力しているときに押すと、タブが入りカーソルが右に移動します。表計算やデータベースなどのアプリケーションでは、次の項目への移動などに使われます。

## ■ 文字入力キーと組み合わせて、文字を入力する

### ⑩ Caps Lock(キャップスロック)・英数キー【ロックされます】

アルファベットを入力するときの文字種を切り替えます。**[Shift]**キーと同時に1回押すごとに、「大文字モード」と「小文字モード」が切り替わります。ひらがな/カタカナモードから、アルファベットや数字を入力する英数モードに切り替えるときにも使います。

### ⑪ 半角/全角キー【ロックされます】

文字を入力しているときの文字種を切り替えます。

Windowsの日本語入力システムMicrosoft IMEでは、1回押すごとに「日本語入力モード」がオン/オフになります。

### ⑫ Shift(シフト)キー

ほかのキーと同時に押して別の機能を実行したり、実行方法を変えたりすることができます。たとえば、「大文字モード」で文字を入力しているときに、アルファベットキーと同時に押すと、小文字で入力することができます。

## ■ 空白を入れたり、漢字に変換する

### ⑬ 無変換キー

日本語入力システムを使っているときに、入力した文字を漢字などに変換したくない場合に押すと、入力モードが変わります。

### ⑭ 変換キー

日本語入力システムを使っているときに、入力した文字を漢字などに変換します。

### ⑮ カタカナ/ひらがなキー【ロックされます】

「カタカナモード」と「ひらがなモード」を切り替えます。

「カタカナモード」のときはこのキーだけ押すと「ひらがなモード」に、「ひらがなモード」のときは**[Shift]**キーと同時に押すと「カタカナモード」に切り替わります。

**[Ctrl] + [Shift]**キーと同時に押すと、カナキー入力のオン/オフを切り替えることができます。

### ⑯ スペースキー

文字を入力しているときに押すと、スペース(空白)が入ります。

## ■ カーソルを動かす

### ⑰ カーソルキー

キーに表記されている矢印の方向に、カーソルが移動します。

## ■ ほかのキーと組み合わせて機能を実行する

### ⑱ Ctrl(コントロール)キー

文字入力キーや、ほかの制御キーと組み合わせて使うと、特定の動作ができます。

### ⑲ Alt(オルト)キー

オルタネートキーともいい、文字入力キーや、他の制御キーと組み合わせて使うと、特定の動作ができます。

### ⑳ NumLock(ニューメリックロック)キー【ロックされます】

ロックすると、テンキーを数字を入力するための専用キーとして動作させます。ロックを外すと、テンキーを特定の動作キーとして動作させます。工場出荷時はロックが外れた状態になっています。

### ㉑ ScrollLock(スクロールロック)キー【ロックされます】

使用しているソフトウェアにより動作は異なりますが、通常はカーソルキーの動きを変えることができます。

工場出荷時はロックが外れた状態になっています。

# 困ったときには

本機をご使用中に、困ったことがあったり、調べたいことがらが発生した場合、次をご参照ください。

## ■ ユーザーズガイド<sup>2</sup>

本機をご使用いただくための、基本的な情報を記載しています。困ったことがあったときは、「トラブルの対応」の章をご参照ください。

なお、ユーザーズガイド<sup>2</sup>は、本機にPDFファイル形式で収録されています。デスクトップ画面上の「ONKYO電子マニュアル」をダブルクリックし、「付属のマニュアル」-「ユーザーズマニュアル2」をクリックして表示される画面から、ユーザーズマニュアル<sup>2</sup>の表紙をクリックすると表示されます。

## ■ ONKYO電子マニュアル

(デスクトップ画面上の「ONKYO電子マニュアル」アイコンをダブルクリック)

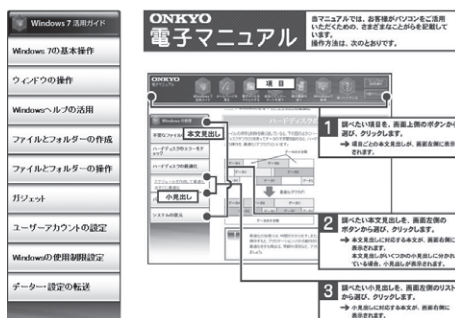
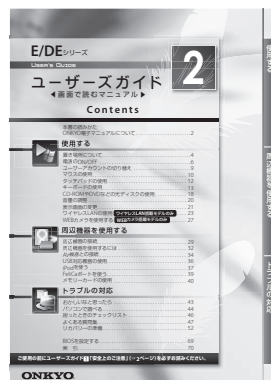
本機のマルチメディア機能の活用方法、およびWindows 7やインターネットの便利な使いかたを図解付きで説明しています。トラブルの解決方法および予防方法も説明しています。

## ■ ONKYO問合せ窓口一覧

ONKYOへの問い合わせ先、および各種アプリケーションソフトの問合せ先を掲載しています。

## ■ マイクロソフト サポート オンライン (<http://support.microsoft.com/>)

Windows固有の技術情報を中心に掲載されています。Windowsの不具合の修正プログラムも、このWebサイトからダウンロードできます。



## ■ オンラインサポート (<http://support.sotec.jp/>)

弊社製品の仕様の公開や、オンキヨー/ソーテックカスタマーサポートセンターに寄せられる質問などを掲載しています。各製品のドライバーおよびプログラムも、このページからダウンロードできます。



## ■ ヘルプとサポート ([スタート] ボタン→[ヘルプとサポート])

Windowsおよび本機に関して、知っておくと有用な情報を掲載しています。Windowsのトラブルシューティングおよびチュートリアルも利用できます。



## ■ オンキヨー/ソーテックカスタマーサポートセンター

ここで紹介した電子データおよびWebサイトを見ても問題が解決しない場合は、オンキヨー/ソーテックカスタマーサポートセンターへご連絡ください。

**オンキヨー/ソーテックカスタマーサポートセンター**

ナビダイヤル

**電話：0570-001134**

または

**電話：03-6746-0001**

受付時間：9:30 ～ 18:00(月曜～日曜・祝日)  
※当社指定休業日を除く



本機の電源をONにしても、Windowsが正しく起動しないとき、まずはここに記載している項目を確認してください。

キーボードが操作できない等の基本的なトラブルについては、ユーザーズガイド**2**の「よくある質問」をご参照ください。

## パソコンが動かない

### Q.1

電源スイッチを押しても動かない

- A ・ 電源ケーブルが抜けている可能性があります。  
電源ケーブルを差し込んでください。
- ・ 本機が故障している可能性があります。  
オンキヨー/ソーテックカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

### Q.2

画面に何も表示されない

- A ・ 本機の電源がONになっていない可能性があります。  
本機の電源LEDを確認し、消えている場合は本機の電源スイッチをONにしてください。
- ・ 起動およびスリープ/休止状態からの復帰に時間がかかっている可能性もあります。  
本機のHDD LEDを確認し、点滅している場合はしばらくお待ちください。
- ・ ディスプレイの表示がOFFになっていませんか。  
ディスプレイLED (P.22～23ページ) が点灯しているときは、ディスプレイの表示がOFFになっています。ディスプレイのON/OFF切替ボタン (P.24～25ページ) を押してください。

### Q.3

パソコンの電源をONにしたところ、黒い画面に英語の文字が表示され、Windowsが起動しない

- A ・ パソコンのシステムが不安定になっている可能性があります。  
リカバリーを試してください。  
ただし、リカバリーを実行すると、Windowsが工場出荷時の初期状態に戻り、お客様がハードディスクドライブに保存されたデータは全て消去されてしまいます。  
リカバリー方法は、「リカバリーの方法」をご参照ください。(P.37～40ページ)  
一部のアプリケーションについては、個別にインストールしていただく必要があります。
- ・ これで回復できない場合は、ケーブルとハードディスクドライブの物理的な接触不良の可能性もありますので、オンキヨー/ソーテックカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。



## Q.4

.....  
パソコンを起動したところ、「セーフモード」という文字が画面に表示され、通常よりも低い解像度で起動している

A ・ この状態は誤動作ではなく、「セーフモード」というWindowsを正常な状態に戻すための診断モードです。

セーフモードで起動した場合、ドライバーや周辺機器との接続に問題があるか、何かの設定が壊れているかなどの原因が考えられます。セーフモードは、不具合の原因がどこにあるかを調べて、それを解消するための診断モードです。不具合がどこにあるかを調べるための最低限の操作のみをおこなうよう設定されています。

問題解決後(自動修復含む)、再起動すると通常どおりWindowsが起動します。

## Q.5

.....  
周辺機器を取り付けたらWindowsが起動しない

A ・ 周辺機器のデバイスドライバーが原因で、Windowsが起動できなくなった可能性があります。

「セーフモード」でWindowsを起動して、トラブルの原因と思われるデバイスドライバーを無効にしてください。この方法でWindowsが正常に起動した場合、正しいデバイスドライバーをインストールするか、デバイスドライバー自体を削除する必要があります。

「セーフモード」でデバイスを無効にするには、次の操作に従って設定してください。

- ①本機の電源をONにして、「ONKYO」ロゴが表示されている間に[F8]キーを押します。
- ②[詳細ブートオプション]が表示されるので、「セーフモード」をキーボードで選択してください。
- ③ユーザー名を選択してください。セーフモードでWindowsが起動します。
- ④[スタート] ボタン→[コントロールパネル] →[システムとセキュリティ] を選択して、「システム」欄の[デバイスマネージャー] をクリックします。
- ⑤【デバイスマネージャー】ダイアログを表示させ、追加した周辺機器の項目名をダブルクリックして表示される【プロパティ】ダイアログで[ドライバー]タブをクリックしてください。
- ⑥[無効] ボタンをクリックし、[はい] をクリックしてから、[OK] ボタンをクリックしてください。

Windowsを再起動すると、通常モードでWindowsが起動します。

- ・ この方法でもWindowsが起動しない場合、本機の電源をOFFにしてから、新しく取り付けた周辺機器を外してください。

## Q.6

.....  
終了できない

A ・ 電源スイッチを4秒以上押すことにより電源を切ることが可能です。

その際、必ずHDD LED(※22～23ページ)がついてないことをご確認ください。上記の方法で電源が切れない場合は、電源ケーブルを抜いてください。



## Q.7

### いきなり画面が消えた

- A ・ディスプレイの電源が切れた可能性があります。  
本機をしばらく操作せずにいると、画面表示が消える設定になっております。マウスやキーボードを動かしてください。
- ・スリープまたは休止状態に入った可能性があります。  
画面表示が消えた後、さらに時間が経過すると、スリープモードになります。電源LEDが点滅している場合は、電源スイッチを押してください。

## Q.8

### 画面表示にムラがある

- A ・ディスプレイを見やすい角度に調整してください。  
液晶ディスプレイは、周囲の温度などの影響によって表示が変わる特性があります。ムラがあるのは故障ではありません。

## Q.9

### マウス・キーボードが正しく動作しない

- A ・マウス(キーボード)が本機に認識されていない可能性があります。  
本機の「コネクト」ボタン、マウス(キーボード)のCONNECTボタンを押して、マウス(キーボード)を本機に認識させてください。(P.12ページ)
- ・電池が正しく入っていない可能性があります。  
マウス(キーボード)底面の電池カバーを開けて、電池を正しく入れなおしてください。(P.8～9ページ)
- ・電池の寿命が切れている可能性があります。  
電池を新しいものに交換してください。(P.8～9ページ)
- ・お使いの環境によっては、正しく動作しない場合があります。  
スチールデスクなど金属製のものの上で使用している場合や、周囲に電気・電子機器または他の無線機器が設置されている場合は、周囲の電波の影響を受けて正しく動作しないことがありますので、なるべく避けてください。
- ・キーボード底面の電源スイッチが「OFF」になっている可能性があります。  
キーボード底面の電源スイッチを「ON」にしてください。(P.12ページ)
- ・適正なドライバーを使用していない可能性があります。  
付属のマウス・キーボード以外を使用する場合は、専用のドライバーが必要な場合があります。使用するマウス・キーボードに付属のドライバーを正しくインストールしてください。

# リカバリーの方法

ハードディスク内にあるリカバリー領域を使用して、パソコンを復旧します。

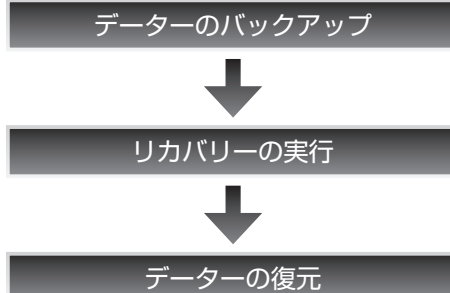
## リカバリーとは

リカバリーとは、ハードディスクの内容を一度消去し、工場出荷時の状態に戻すことです。Windowsのシステムが手作業では修復できない状態になったときや、システムの不具合の原因が特定できない場合などのときに、リカバリーをおこないます。

リカバリーをおこなう前に、ハードディスクのデータを外部メディア（USBメモリ、CD-R/RW、DVD-R/RW、外付けHDDなど）に保存してください。リカバリー後に保存したデータを戻すと、リカバリー前と同じ状態で本機を使うことができます。



本書では、リカバリーの実行方法のみ説明します。データのバックアップ、データの復元方法については、ユーザーズガイド<sup>2</sup>をご参照ください。



## リカバリーのモードについて

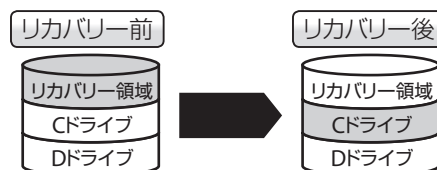
復旧方法には、「標準」モードと、「高度」モードの2種類があります。

### ■ 標準モード

Cドライブのみを購入時の状態に復旧する方法です。



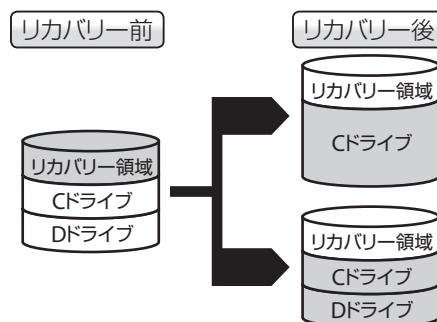
この方法でリカバリーした場合、リカバリー後はCドライブのデータがすべて消えます。消えたデータは復旧できないので、あらかじめデータのバックアップをとりましょう。



### ■ 高度モード

Cドライブ、Dドライブの両方を復旧する方法です。復旧方法（リカバリーのタイプ）は、2つの方法から選択することができます。

- ・HDDの全体をCドライブとする  
ハードディスク全体を1つにまとめて、Cドライブとして復旧します。
- ・HDDの50%をCドライブに、残り50%をDドライブとする  
ハードディスク全体を2つにわけて、Cドライブ、Dドライブとして復旧します。



この方法でリカバリーした場合、リカバリー後はCドライブ、Dドライブ両方のデータがすべて消えます。消えたデータは復旧できないので、あらかじめデータのバックアップをとりましょう。

## リカバリーを実行する



リカバリー中は、電源を切らないでください。

### 1. 本機の電源がOFFであることを確認したあと、電源をONにします。

"ONKYO"ロゴの入った画面が表示されます。



本機の電源がOFFであっても、休止状態やスリープ状態からはリカバリーを実行できません。必ず[スタート]ボタン→[シャットダウン]を選択し、本機の電源をOFFにした状態からリカバリーを実行してください。

### 2. "ONKYO"ロゴが消えた直後、画面が黒くなったら[F8]キーを数回押します。

【詳細ブート オプション】画面が表示されます。



- ・ Windowsが起動してしまった場合、パソコンの電源をOFF(シャットダウン)にして再度手順1をおこなってください。
- ・ "ONKYO"ロゴの入った画面は、表示時間が大変短いです。[F8]キーを押すタイミングは"ONKYO"ロゴが消えた直後ですが、押すタイミングが合わない場合は、"ONKYO"ロゴが表示されてから【詳細ブート オプション】画面が表示されるまでの間、[F8]キーを断続的に押し続けてみてください。

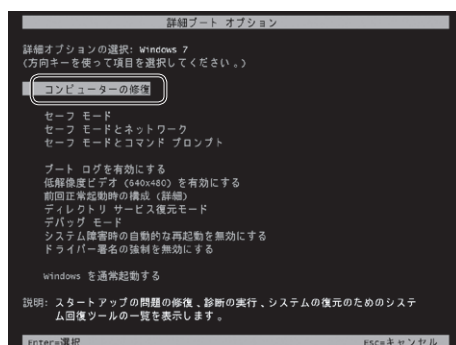
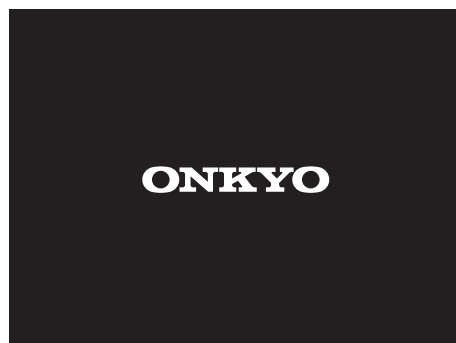


BIOSの設定を変更した場合、リカバリーが実行されない場合があります。変更した場合は、BIOSの設定を工場出荷時の状態に戻してからリカバリーを実行してください。

### 3. 【コンピュータの修復】を選択して、[Enter]キーを押します。

Windowsが、コンピュータの修復モードで起動します。

起動後、【システム回復オプション】ダイアログが表示されます。



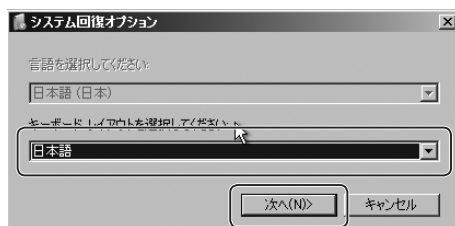
4. 次のように設定されていることを確認してください。

「言語を選択してください」：日本語

※すでに「日本語」が選択され、変更できなくなっています。設定の必要はありません。

「キーボード レイアウトを選択してください」：日本語

確認後、[次へ] ボタンをクリックします。



5. [戻る] をクリックして、表示されるユーザー一覧からユーザーを選択します。

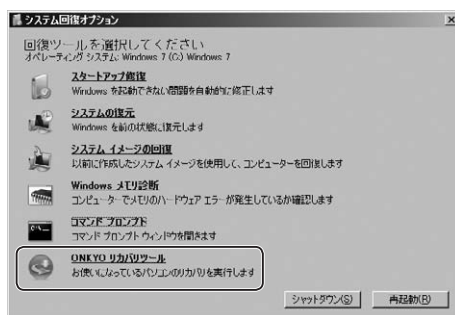


6. パスワード欄に、ログオン時に使用するパスワードを入力して [OK] ボタンをクリックします。



7. 回復ツールの選択一覧から、[ONKYO リカバリツール] をクリックします。

【ONKYOリカバリツール】が起動します。

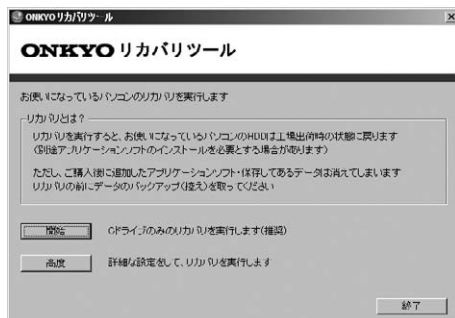


8. [開始] または [高度] ボタンのいずれかをクリックします。



リカバリーを中止する場合は、[終了] ボタンをクリックします。【リカバリツールを終了しますか?】と表示されますので [はい] をクリックすると、手順7の回復ツールの選択一覧に戻ります。

[シャットダウン] もしくは [再起動] をクリックして、リカバリーを終了してください。



## ■ [開始] を選択したとき

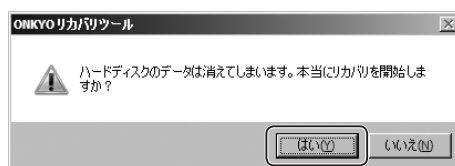
### 1. [はい] ボタンをクリックします。

リカバリーが開始されます。

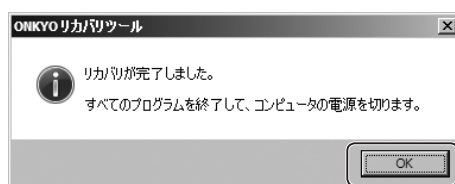


リカバリーを中止する場合は、[いいえ] ボタンをクリックします。「リカバリを実行しませんでした」と表示されますので、[OK] ボタンをクリックして、【ONKYOリカバリツール】に戻ります。

[終了] ボタンをクリックすると、【リカバリツールを終了しますか?】と表示されます。[はい] をクリックして、39「ページ手順7の回復ツールの選択一覧」に戻ります。[シャットダウン] もしくは [再起動] をクリックして、リカバリーを終了してください。

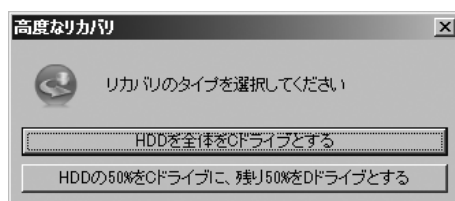


### 2. [OK] ボタンをクリックし、パソコンの電源をOFFにします。



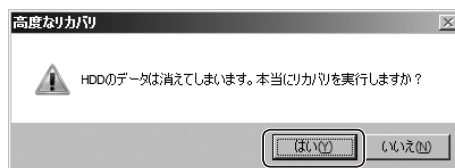
## ■ [高度] を選択したとき

### 1. [HDDを全体をCドライブとする] または [HDDの50%をCドライブに、残り50%をDドライブとする] のいずれかを選択してください。

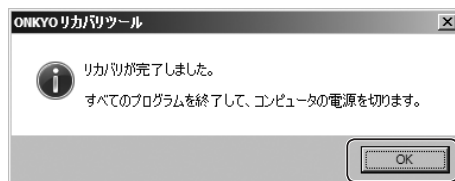


### 2. [はい] ボタンをクリックします。

リカバリーが開始されます。



### 3. [OK] ボタンをクリックし、パソコンの電源をOFFにします。



# 廃棄について

パソコンの廃棄は、法律や各自治体の条例などにより、廃棄方法が定められています。本製品を廃棄する前にご参照ください。

## 本製品の廃棄について

本製品は、個人使用か事業使用で、廃棄方法が異なります。

### ■ 事業系使用済みパソコンの回収・再資源化業務について

オンキヨーは、2001年4月1日より事業系(法人ユーザー)の使用済みパソコンの回収及び再資源化業務を開始致しております。

本件は、2001年4月より施行された「資源の有効な利用の促進に関する法律(改正リサイクル法)」に基づき、3月28日に公布された省令「パーソナルコンピュータの製造等の事業をおこなう者の使用済みパソコンの自主回収及び再資源化」に準拠しております。

事業系使用済みパソコンにおける回収工程から、再生・再資源化及び処分工程までの全工程を遂行しております。回収・リサイクルの流れは次の通りです。

1. 事業系のお客様から、事業系専用リサイクルコールセンターにて受付。
2. 全国ネットワークの回収デポにて製品を回収。
3. リサイクルセンターへ運搬。
4. リサイクルセンター及び指定業者にて再生・再資源化。

なお、料金体系や周辺機器などの個別条件につきましても、右記の電話番号にてご案内しております。

### 事業系パソコンリサイクル窓口 一般社団法人パソコン3R推進協会

インターネットからのお申し込み

お問合わせ先

[http://www.jp.onkyo.com/sotec/  
recycle/index2.html](http://www.jp.onkyo.com/sotec/recycle/index2.html)

電話： **03-3292-7518**  
受付時間：9:00～12:00、13:00～17:00

### ■ 家庭系パソコンの回収・再資源化について

2003年10月1日以降にお客様が当社製の家庭利用のパソコンを廃棄される際には、専用窓口にて受付をいたします。回収につきましては、社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)が日本郵便グループと提携して構築した回収システムを利用いたします。

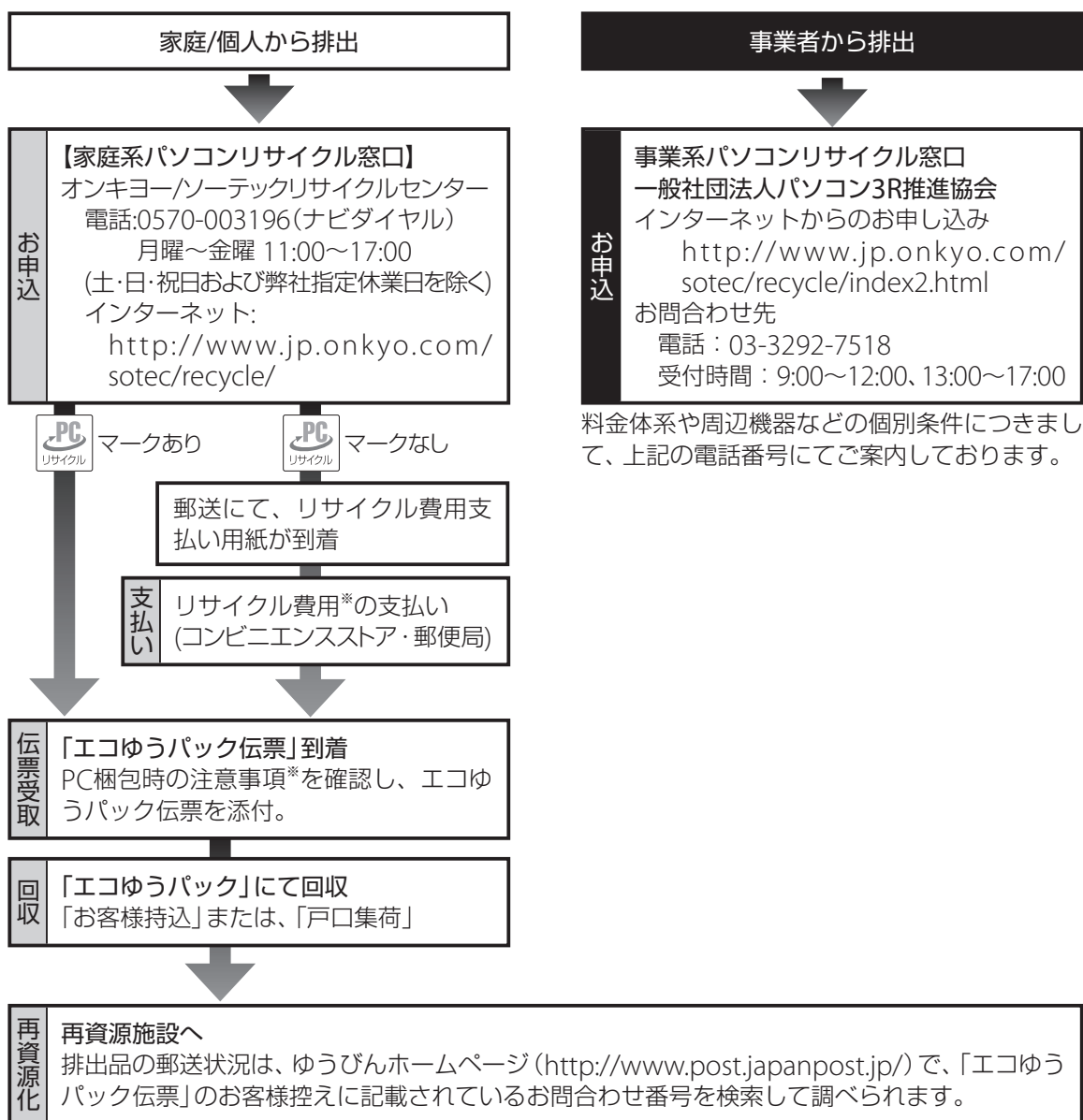


対象製品(パソコン・ディスプレイ)にはJEITAが定める「PCリサイクルマーク」を貼付して出荷いたします。同マーク付き製品については、無償で回収・再資源化いたします。PCリサイクルマークが貼付されていないパソコンの回収・再資源化料金は、お客様にご負担いただくことになります。「再資源化料金」は、「リサイクル費用(家庭系パソコンの再資源化料金)」(P42ページ)をご参照ください。



- ・パソコンのリサイクルの取り組みについては、当社ホームページでも紹介しております。ぜひご覧ください。  
<http://www.jp.onkyo.com/sotec/recycle/>
- ・同時にパソコンのご購入を検討されている場合は、「インターネット無料査定・パソコン買取りサービス」(<http://www1.sotec.co.jp/direct/used/index.html>)で、お使いのパソコンの買取り査定をおこなったうえでパソコンをご購入いただくことをおすすめします。

## ■ 回収の仕組み



## ■ リサイクル費用（家庭系パソコンの再資源化料金）

PCリサイクルシールの貼付されていないPCをお持ちの場合は、下記料金が別途必要となります。

回収対象製品	回収・再資源化料金(税込)
ノートブック型パソコン	3,150円
デスクトップ型パソコン	3,150円
液晶ディスプレイ一体型パソコン	3,150円
CRTディスプレイ一体型パソコン	4,200円
液晶ディスプレイ	3,150円
CRTディスプレイ	4,200円

(本書制作時)

※なお、お支払い時には各種振込手数料（コンビニエンスストア：¥63、郵便局（窓口）：¥110、郵便局（ATM）：¥70）が発生します。予めご了承ください。



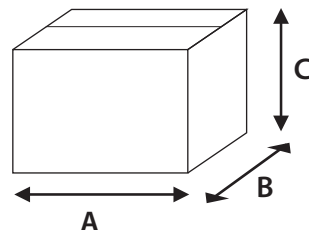
## ■ PC梱包時の注意事項

排出品を梱包し、送付された「エコゆうパック伝票」を梱包した箱等の見やすい場所に貼ります。

- 輸送途中で破損・飛散しないような簡易な梱包で問題ありません。
- 無梱包での輸送はできません。

### ◎ 梱包する際の条件は以下の通りです

- ・ ダンボール箱(もしくは破れにくい袋)
- ・ 排出パソコンを含み、重さ30kgまで
- ・  $A+B+C$ の長さ=1.7m以内



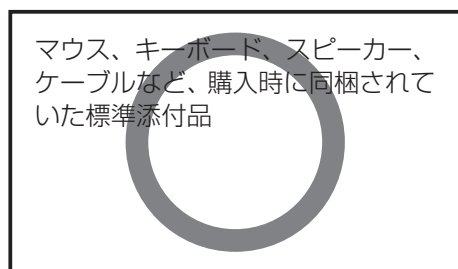
### <条件を満たさない場合>

梱包した排出パソコンが30kgを超える、梱包の縦、横、高さの合計が1.7mを超える等の理由により、郵便局で引取りができない場合があります。

その際は、オンキヨー/ソーテックリサイクルセンター受付窓口までご連絡ください。

◎ デスクトップパソコンとディスプレイなど、複数台数を同時に排出する場合は、1台ずつ梱包し、それぞれにエコゆうパック伝票を貼ってください。

◎ キーボードやマウスなどの標準添付品は、排出するパソコンと同じ梱包箱(もしくは袋)に入れてください。標準添付品以外のものは回収対象となりませんのでご注意ください。



マウス、キーボード、スピーカー、ケーブルなど、購入時に同梱されていた標準添付品



プリンターなどの周辺機器、取扱説明書/マニュアル、フロッピーディスク、CD-ROM等の媒体

## ■ 回収時の条件(回収規約)

オンキヨー及びソーテック製パーソナルコンピューターまたはディスプレイの回収を希望されるお客様は、回収規約(<http://www.jp.onkyo.com/sotec/recycle/images/20080910.pdf>)をご確認頂き、同意して頂いた上で回収のお申し込みをお願い申し上げます。

## ■ 家庭系パソコンリサイクル窓口

【オンキヨー/ソーテックリサイクルセンター】

電話：0570-003196(ナビダイヤル)

月曜～金曜 11:00～17:00

(土・日・祝日および弊社指定休業日を除く)

この電話番号は、リサイクル専用です。

製品に関するサポートはおこなっておりません。

インターネット:

<http://www.jp.onkyo.com/sotec/recycle/>



## ■ 市町村からの引取り条件

「資源の有効な利用の促進に関する法律」(平成三年四月二十六日法律第四十八号)第二十六条に基づく「パーソナルコンピューターの製造等の事業をおこなう者の使用済パーソナルコンピューターの自主回収及び再資源化に関する判断の基準となるべき事項を定める省令」(平成十三年三月二十八日経済産業省・環境省令第一号)第四条に規定されている「市町村からの引取り条件」について、以下のように公表いたします。

### 【市町村からの引取り条件】

市町村は、消費者と同じ手続き・条件によって、弊社が製造等をした使用済みパーソナルコンピューターの引取りを弊社に求めるものとします。

手続き・条件については以下の通りです。

- 市町村は弊社へ回収の申込みをおこないます。「PCリサイクルマーク」の付いていない製品については、回収再資源化料金の支払いが必要です。「PCリサイクルマーク」の付いている製品については、新たな料金負担なしで回収します。
- 廃棄する製品を一台ずつ梱包し、弊社から送付された「エコゆうパック伝票」を貼り付けます。
- 市町村において、伝票に記載された郵便局へ集荷を依頼するか、または郵便局(簡易郵便局を除く)へ持ち込むことにより、弊社は使用済みパーソナルコンピューターを引き取ります。

注)製品の汚れ、破壊レベルについては、「エコゆうパック」で安全に輸送でき、再資源化率を遵守できる程度までとします。

※回収再資源化料金については、「リサイクル費用(家庭系パソコンの再資源化料金)」(P42ページ)をご確認ください。

## ■ 廃棄・譲渡時のハードディスク上のデーター消去に関するご注意

最近、パソコンは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきております。これらのパソコンの中のハードディスクという記録装置に、お客様の重要なデーターが記録されています。

従って、そのパソコンを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデーター内容を消去するということが必要となります。

ところが、このハードディスク内に書き込まれたデーターを消去するというのは、それほど簡単ではありません。「データーを消去する」という場合に、一般に

- ・データーを「ごみ箱」に捨てる
- ・「削除」操作をおこなう
- ・「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ・ソフトで初期化(フォーマット)する
- ・ハードディスクのリカバリーをおこない、工場出荷状態に戻す

などの作業をしますが、これらのことをしても、ハードディスク内に記録されたデーターのファイル管理情報が変更されただけで、実際はデーターは見えなくなっているという状態なのです。つまり、一見消去されたように見えますが、WindowsなどのOSのもとで、それらのデーターを呼び出す処理が出来なくなっただけで、本来のデーターは残っているという状態なのです。

従いまして、特殊なデーター回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデーターを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このパソコンのハードディスク内の重要なデーターが読み取られ、予期しない用途に利用されることがあります。

パソコンユーザーが破棄・譲渡等をおこなう際に、ハードディスク上の重要なデーターが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データーを、ユーザーの責任において消去することが非常に重要になります。消去するためには、専用のソフトウェアあるいはサービス(共に有償)を利用するか、ハードディスク上のデーターを金槌や強磁気により物理的・磁氣的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

## あ

明るさ	24~25
明るさアップボタン	24~25
明るさダウンボタン	24~25
アクセサリボックス	6~7
アプリケーションキー	28
アルファベット	31
イジェクトボタン	24~25
インサートキー	30
インターネットボタン	29
英数キー	31
液晶ディスプレイ	4
エスケープキー	30
エンターキー	30
大文字モード	31
オルトキー	31
オンキヨー/ソーテックカスタマー サポートセンター	33
音量	25、29

## か

カーソルキー	31
カタカナ	31
カタカナ/ひらがなキー	31
乾電池	7、8~9
キーボード	7、8~9、11~13、36
キーボードボックス	6~7
キャップスロックキー	31
休止状態	36
ケンジントンロックキーホール	26~27
コネクトボタン	12、22~23、36
小文字モード	31
コントロールキー	31

## さ

再生/一時停止ボタン	29
シフトキー	31
スクロールロックキー	31
ステレオスピーカー	22~23
スペースキー	31
スリープ	29、36
スリープボタン	29
制御キー	28
赤外線受光部	22~23
セーフモード	35

## た

タッチパッド	28~29
タブキー	30
地上デジタルテレビ	14~17
チャンネルアップボタン	29
チャンネルダウンボタン	29
停止ボタン	29
ディスプレイ	22~23
ディスプレイのON/OFF切替ボタン	24~25
ディスプレイLED	22~23
デバイスドライバー	35
デリートキー	30
テレビアンテナ	10
テレビアンテナケーブル	16~17、26~27
テレビアンテナ端子	10、16~17、26~27
電源ケーブル	7、10~11、34~36
電源スイッチ	18、22~23、34~35
電源端子	26~27
電源LED	22~23、34
電子マニュアル	1、32

## な

内蔵マイク	22
日本語入力システム	31
ニューメリックロックキー	31

## は

廃棄	41~44
バックスペースキー	30
ハードディスク	4
半角/全角キー	31
光ディスクドライブ	24~25
光ディスクドライブ強制排出孔	24~25
光ディスクドライブLED	24~25
光デジタル (SPDIF) 出力端子 (角型)	26~27
ひらがな	31
ファンクションキー	30
プリントスクリーンキー	30
ヘッドホン	24~25
ヘッドホン端子	24~25
変換キー	31
ポーズ/ブレークキー	30
ボリュームアップボタン	24~25、29
ボリュームダウンボタン	24~25、29

**ま**

マイク端子 . . . . . 24~25  
 マイクロホン . . . . . 24~25  
 マウス . . . . . 7、8、11~13、36  
 ミュートボタン . . . . . 24~25  
 無変換キー . . . . . 31  
 メモリーカード . . . . . 24~25  
 メモリーカードスロット . . . . . 24~25  
 文字入力キー . . . . . 28

**や**

ユーザズガイド **2** . . . . . 1、32

**ら**

ライン出力端子 . . . . . 26~27  
 ライン入力端子 . . . . . 26~27  
 リカバリー . . . . . 34、37~40  
 リサイクル . . . . . 41~44  
 リモコン . . . . . 7、9、13、23  
 ロック . . . . . 31

**わ**

ワイヤレスLAN . . . . . 22~23  
 ワイヤレスLAN LED . . . . . 22~23

**A**

Altキー . . . . . 31

**B**

Back Spaceキー . . . . . 30  
 B-CASカード . . . . . 14~15  
 B-CASカードスロット . . . . . 15、26~27

**C**

Caps Lockキー . . . . . 31  
 Ctrlキー . . . . . 31

**D**

Deleteキー . . . . . 30

**E**

e-mailボタン . . . . . 29  
 Enterキー . . . . . 30  
 eSATAポート . . . . . 26~27  
 Escキー . . . . . 30

**F**

FeliCaポート . . . . . 22~23

**H**

HDD LED . . . . . 22~23、34~35  
 HDMIポート . . . . . 26~27

**I**

Insertキー . . . . . 30

**L**

LANポート . . . . . 26~27

**M**

Microsoft IME . . . . . 31

**N**

NumLockキー . . . . . 31

**O**

ONKYO電子マニュアル . . . . . 1、32

**P**

Pause/Breakキー . . . . . 30  
 PrtScrキー . . . . . 30

**S**

ScrollLockキー . . . . . 31  
 Shiftキー . . . . . 31

**T**

Tabキー . . . . . 30

**U**

UHF . . . . . 16~17  
 USB . . . . . 22~23、24~25、26~27  
 USBポート . . . . . 22~23、24~25、26~27

**V**


VHF . . . . . 16~17

**W**

WEBカメラ . . . . . 22  
 Windowsキー . . . . . 28  
 Windows 7セットアップ . . . . . 18~21

- ・本書の仕様、情報(本製品、ソフトウェアを含む)は予告なしに変更される場合があります。本製品ならびに、ソフトウェア、マニュアルを運用した結果については、いっさいの責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・本書で紹介されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。  
ソフトウェアおよびそのマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約にもとづき、同意書記載の管理責任者のもとでのみ使用することができます。よって、それ以外の目的で当該ソフトウェア供給会社の承諾なしに無断で使用することはできません。
- ・本製品にあらかじめインストールされているWindows 7以外のOSについては、サポートの範囲外とさせていただきますので、ご了承ください。
- ・本書の全ての内容は著作権法によって保護されています。オンキヨー株式会社の許可なしに、本書の内容の一部または全部を無断で複写、転載することを禁じます。
- ・本製品で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。
- ・本製品は、人命にかかわる設備や機器(医療機器、原子力設備に関連する機器、航空宇宙機器、運輸設備に関連する機器など)や、高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの使用や組み込みを目的として設計されていません。  
これら設備や機器、制御システムなどに本製品を使用された場合、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。

E/DEユーザーズガイド **1** 2009年10月 初版

- ・Intel、Intel insideロゴ、Celeron、Pentium、Centrino、Atomはアメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。
- ・Microsoft、Windows、Outlookは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・Symantec、Symantecロゴ、Ghostは、Symantec Corporationの登録商標です。  
©2009 Symantec Corporation. All rights reserved.
- ・VGAは米国IBM社の登録商標です。
- ・"メモリースティック"、"メモリースティックPRO"、"メモリースティックデュオ"、"マジックゲートメモリースティック"および 、PROは、ソニー株式会社の登録商標または商標です。
- ・miniSDはSD Card Associationの商標です。SDは商標です。
- ・MMCは、独国Infineon Technologies AGの商標です。
- ・その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

ご購入されたときにご記入ください。  
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日： \_\_\_\_\_ 年    月    日

ご購入店名： \_\_\_\_\_

Tel.        (    ) \_\_\_\_\_

メモ：

**ONKYO®**

**オンキョー株式会社**

本社 大阪府寝屋川市日新町2-1 〒572-8540

  
ONKYO  
HOME PAGE  
<http://www.jp.onkyo.com/>

P0910-1

402218J DC01-D1064-01A

(C) Copyright 2009 ONKYO CORPORATION Japan. All rights reserved.

